

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 2 月 1 8 日

鹿児島地方裁判所鹿屋支部

裁判所書記官 東條 博喜

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

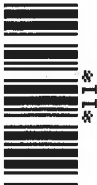
記

入札期間	令和 8 年 3 月 5 日から 令和 8 年 3 月 1 2 日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8 年 3 月 1 9 日 午前 9 時 0 0 分 鹿児島地方裁判所鹿屋支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8 年 4 月 1 6 日 午前 9 時 3 0 分 鹿児島地方裁判所鹿屋支部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 3 3 条）		☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。買受適格証明書の発行には 1 ヶ月程度要する場合があります。詳しくは管轄する農業委員会にお問い合わせください。
特別売却が実施される場合、その実施期間については、初日に限り午前 1 0 時 0 0 分からです。		
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 2 月 1 8 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		



116

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和5年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～5	25,832,800 20,666,240	一括	5,166,560	3,036,658	0
1	1,814,960				
2	940,800				
3	50,960				
4	125,440				
5	22,900,640				



物 件 目 録

- | | | | |
|---|----|----|---|
| 1 | 所 | 在 | 曾於市末吉町二之方字麓 |
| | 地 | 番 | 2 1 1 0 番 1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 1 4 5 5. 6 9 平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 曾於市末吉町二之方字麓 |
| | 地 | 番 | 2 1 1 0 番 4 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 8 6 4. 0 5 平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 曾於市末吉町二之方字麓 |
| | 地 | 番 | 2 1 1 0 番 7 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 4 1. 9 0 平方メートル |
| 4 | 所 | 在 | 曾於市末吉町二之方字麓 |
| | 地 | 番 | 2 1 1 6 番 3 |
| | 地 | 目 | 雑種地 |
| | 地 | 積 | 1 0 2 平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番地 1、2 1 1 0 番地 4、2 1 1 0 番地 7、2 1 1 6 番地 3 |
| | 家屋 | 番号 | 2 1 1 0 番 1 |
| | 種 | 類 | 診療所 |



物 件 目 録

構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板ぶき・陸屋根地下1階付3階建

床 面 積 1階 1189.59平方メートル
 2階 759.56平方メートル
 3階 518.40平方メートル
 地下1階 78.00平方メートル

(現況)

種 類 診療所・居宅

(附属建物)

符 号 2

種 類 車庫・物置

構 造 鉄骨造スレート葺2階建

床 面 積 1階 91.49平方メートル
 2階 60.95平方メートル

(現況)

種 類 車庫・物置・居宅



物 件 明 細 書

令和 6 年 1 月 2 9 日

鹿児島地方裁判所鹿屋支部

裁判所書記官 田井村 秀樹

1 不動産の表示

【物件番号 1 ～ 5】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1 ～ 5】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 5】

本件所有者医療法人忠正会が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1】

隣地（地番 1 7 1 5 番、同 2 1 1 0 番 8）との境界が不明確である。

【物件番号 4】

隣地（地番 1 7 1 5 番、同 2 1 1 6 番 5）との境界が不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。



- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
(このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。)



物 件 目 録

1 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 1
地 目 宅地
地 積 1 4 5 5 . 6 9 平方メートル

所有者 A

2 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 4
地 目 宅地
地 積 8 6 4 . 0 5 平方メートル

所有者 医療法人忠正会

3 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 7
地 目 宅地
地 積 4 1 . 9 0 平方メートル

所有者 A

4 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 6 番 3
地 目 雜種地
地 積 1 0 2 平方メートル

所有者 A



物 件 目 録

5 所 在 曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番地 1、2 1 1 0 番地 4、2 1 1 0 番地 7、2 1 1 6 番地 3

家屋 番号 2 1 1 0 番 1

種 類 診療所

構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板ぶき・陸屋根地下 1 階付 3 階建

床 面 積	1 階	1 1 8 9 . 5 9 平方メートル
	2 階	7 5 9 . 5 6 平方メートル
	3 階	5 1 8 . 4 0 平方メートル
	地下 1 階	7 8 . 0 0 平方メートル

(現況)

種 類 診療所・居宅

(附属建物)

符 号 2

種 類 車庫・物置

構 造 鉄骨造スレート葺 2 階建

床 面 積	1 階	9 1 . 4 9 平方メートル
	2 階	6 0 . 9 5 平方メートル

(現況)

種 類 車庫・物置・居宅

所有者 医療法人忠正会



令和 5年(ケ)第 9号
令和 5年10月31日受理
令和 6年 1月 5日提出

現況調査報告書

鹿児島地方裁判所鹿屋支部

執行官 松 原 満 平 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 1
地 目 宅地
地 積 1 4 5 5 . 6 9 平方メートル

所有者 A

2 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 4
地 目 宅地
地 積 8 6 4 . 0 5 平方メートル

所有者 医療法人忠正会

3 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 0 番 7
地 目 宅地
地 積 4 1 . 9 0 平方メートル

所有者 A

4 所 在 曾於市末吉町二之方字麓
地 番 2 1 1 6 番 3
地 目 雑種地
地 積 1 0 2 平方メートル

所有者 A



物 件 目 録

5 所 在 曾於市末吉町二之方字麓2110番地1、2110番地4、2110番地7、2116番地3

家屋 番号 2110番1

種 類 診療所

構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板ぶき・陸屋根地下1階付3階建

床 面 積
1階 1189.59平方メートル
2階 759.56平方メートル
3階 518.40平方メートル
地下1階 78.00平方メートル

(附属建物)

符 号 2

種 類 車庫・物置

構 造 鉄骨造スレート葺2階建

床 面 積
1階 91.49平方メートル
2階 60.95平方メートル

所有者 医療法人忠正会



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	住居表示未実施地区	
土地	物件 1, 3, 4	
現況地目	☒ 宅地（物件 1, 3） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☒ 雑種地（物件 4）	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☐ 土地所有者 ☒ その他の者 上記の者が、本土地上に下記建物を所有し占有している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	定着物として引込柱 1 本及びタンク 1 基が存在する。	
建物	物件 5	
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☒ 主たる建物 ☒ 附属建物） 主たる建物 ☒ 種類：診療所・居宅 附属建物 ☒ 種類：車庫・物置・居宅 ☐ 構造： ☐ 構造： ☐ 床面積： ☐ 床面積	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積： }	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が、動産を残置した状態で占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	本建物の付帯設備として物件 4 土地上と本建物の屋上に変電設備が存する。本建物の付帯設備として本建物に室外機、冷却機、貯水槽、発電設備が存する。	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日 }	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件1, 3, 4関係)		
占有範囲	■全部 ☐	
占有者	■債務者 ☐	
占有状況	■敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
■関係人(■B(占有者忠正会の元破産管財人) ☐ ()の陳述/□提示文書()の要旨		
占有権原	☐ 賃借権 ■使用借権 ☐	
占有開始時期	平成6年 9月 8日	
最初の契約日	平成6年 9月 8日ころ	
契約等期間	平成6年 9月 8日から ☐ 年 月 日まで 年間 ■不明	
更新の種類別	☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の契約等期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 不明	
契約等貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等	毎金 円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金	■ない ☐ ある (□敷金 円 □保証金 円)	
特約等	☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他		
執行官の意見	☐ 上記のとおり ■下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	
本件建物の敷地占有権原については、本件建物所有者元破産管財人Bの陳述から、使用貸借で保証金等の一時金はないと判断したが、契約期間については不明とした。 占有開始日については、忠生会の設立日であり本件建物の所有権を取得した平成6年9月8日とした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	住居表示未実施地区		
土地	物件 2		
現況地目	☒ 宅地（物件 2） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が、本土地上に下記建物を所有し占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件 5		
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☐ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☐ その他の者 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☐ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☐ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ B (本件所有者医療法人忠正会及び本件所有者Aの元破産管財人)	私は、本件所有者医療法人忠正会（以下「忠正会」という。）及び本件所有者Aの元破産管財人です。 物件5の建物（以下「本件建物」という。）の物件1，3，4の各土地に対する敷地占有権原については、使用貸借だと思われます。 根拠としては、破産管財人として本件建物の所有者忠正会が上記各土地に賃料を支払っていたかについて忠正会の帳簿類を調査しましたが賃料を支払った形跡はありませんでした。 本件建物の3階部分の一部に居宅部分がありますが、忠正会の関係書類を調査したところ、居宅部分について第三者から賃料を受領したような形跡はありませんでした。 本件建物にある動産については、医療機械を含めて全て忠正会の所有です。 リース物件については、全てリース会社が引き上げています。
■ C (本件所有者Aの娘)	私は、本件所有者Aの娘です。 私は、忠正会の前理事長Dの姉で、最後の理事長Eの娘になります。 医師である弟が亡くなったことにより、医師である高齢の父Eが診療所で診察をするようになりました。 そこで、県外に居住している私も毎週帰ってきて、医師として患者さんの診察を続けていました。 但し、常勤医師ではありませんでしたし、忠正会の運営には関与していませんでしたので、忠正会の事を把握していたわけではありませんが本件建物及び附属建物は、全て忠正会が占有していることになると思います。 第三者に貸しているということはありません。 本件建物内にある医療用の産業廃棄物は、定期的に回収業者が回収していましたので、殆ど無いと思います。 本件建物の3階居宅部分については、最後は忠正会の勤務医の先生が忠正会の社宅として利用していました。 本件建物の居宅部分の動産も忠正会の所有です。 本件建物は、隣接地2109番上の私所有の建物と地下トンネルで繋がっていますが、トンネル自体は2つあると思います。 本件所有者であるAは、高齢でもあり忠正会との土地の貸し借りについては、どのような事務処理をしていたかは良く分からないと思います。
■ F (鹿児島県鹿屋保健所 地域保健福祉課主査)	鹿児島県に対しては、忠正会から医療機関の廃止届は既に提出されています。 廃止届が提出されると、県としては指導監督する立場にないので、薬品等が処理されたりしたかは把握していません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 物件1乃至4の土地(以下「本件各土地」という。)及び本件建物の占有関係については、現況及び本件所有者Aの娘C及び忠正会の元破産管財人Bの陳述から、3及び4枚目記載のとおり認めた。
- 本件各土地及び本件建物の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 本件各土地は、一体となっており相互の境界は外観上判然としない。
- 物件1, 2の土地は、市道及び曾於市が所有し管理する集落道(2110番3)に接面している。
物件1, 2の土地と市道及び上記集落道との境界は、境界付近に側溝が存在しほぼ明瞭である。
- 物件3の土地は、曾於市が所有し管理する集落道(2110番3)に接面している。
物件3の土地と上記集落道との境界は、境界付近に側溝が存在しほぼ明瞭である。
- 物件1の土地と北側の隣接地2110番8との境界は、外観上判然としない。
- 物件1の土地と東側の隣接地1715番との境界は、外観上判然としない。
- 物件4の土地と南側の隣接地2116番5(曾於市所有の雑種地)との境界は、外観上判然としない。
- 物件4の土地と北側の隣接地1715番との境界は、外観上判然としない。
- 物件1土地の北側の土地2109番上の建物のさしかけが、物件1土地に越境している。
- 本件建物と物件1土地の北側に存する2109番の土地上の建物の間に、工作物(通路)が存する。
- 本件建物の1階には、複数の雨漏り跡が存する。
- 本件建物の外壁タイルが一部崩落しており、危険な状態である。
- 本件建物の屋上は、防水シートが剥がされている。
- 本件建物は、屋上等に多数の亀裂が見受けられる。
- 本件建物内には、大量の医療器具やベッドが残置されている。
- 本件建物内に、薬品及び医療用の廃棄物が残置されているかは不明である。
- 本件建物及び符号2の附属建物の管理状態は悪い。
- 本件建物の付帯設備である変電設備については、使用可能かについては不明である。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
5年10月31日 (火) : — :	文書送付	曾於市役所税務課 課税資料写交付申請
5年11月 2日 (木) 12:35 — 12:50	物件所在地	物件確認
5年11月16日 (木) 16:20 — 16:50	大隅地区消防組合本部 曾於市大隅町岩川 5 9 5 0 番地	本件建物の間取り図等の写交付申請及び受領
5年11月21日 (火) 9:30 — 11:30 12:30 — 14:30	物件所在地	立入調査、占有調査、写真撮影
5年11月30日 (木) 16:10 — 16:15	鹿児島地方法務局	全部事項証明書交付申請及び受領
5年12月 8日 (金) 16:00 — 16:10	電話照会	鹿児島県鹿屋保健所地域保健福祉課 F 主査 から診療所の廃止届等についての聴き取り
5年12月26日 (火) 14:40 — 15:00	電話照会	本件債務者忠正会の元破産管財人B から 聴き取り
5年12月29日 (金) 11:50 — 12:15	電話照会	本件所有者Aの長女Cから本件建物の占有関係に ついて聴き取り
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場したところ、目的物件に所有者が在宅していた。 ☒ 令和 5年11月21日 目的物件は施錠されていたので、解錠技術者に解錠させたうえ、建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

A3判をA4判に縮小した

(座標値種別：国土地測定)



+2057.770 (座標値種別：国土地測定)

地番区域見出
末吉町二之方

請求部	所在	曾於市末吉町二之方字麗				地番	2110番1			
出力	1/500	精度	甲二	座標系	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和59年2月				備考	付年月日(原図)	補記事項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

(鹿児島地方方法務局曾於出張所管轄)

令和5年9月29日

宮崎地方方法務局

請求番号 3-1

登記官

(1/1)

(9 枚目)

A3判をA4判に縮小した

411

地積測量図

前 2110-7 (後・新)

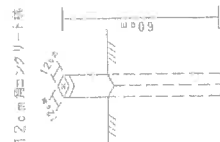
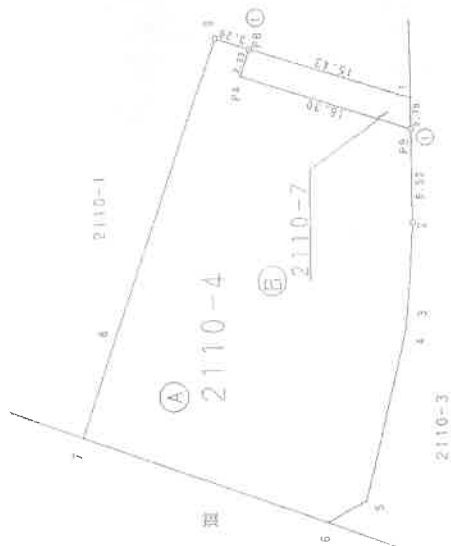
地番 2110-7-4

土地の所在 東京都台東区本町二丁目五番五号

座標求積表

地番	⑧ 2110-7	X_n	Y_n	$(X_{n+1} - X_n) \cdot Y_n$	延 積
測点					
1	-149470.100	2342.740		34442.963480	15.43
P8	-149455.388	2347.391		35485.498313	2.63
P4	-149454.557	2344.897		-34474.675694	15.30
P9	-149470.090	2339.958		-36369.967194	2.78
		延 積		83.818905	
		面積		41.9094525	
				41.90	m ²

地番	④ 2110-4	X_n	Y_n	$(X_{n+1} - X_n) \cdot Y_n$	延 積
測点					
1	905.96	864.050475		41.9094525	
P4		864.050475		864.050475	
P9		864.05		864.05	m ²



境界	境界線の種類
①	コンクリート杭
②	石杭
③	プラスチック杭
④	金属標

所有権

地籍人

(平成17年9月6日作成)

作成者

縮尺 1/500

これは自己記録されているものを縮小した書面である。

(測量調査方法に準拠して作成された書面)

令和5年10月20日

東京都建設局

登記官

(10 枚目)

測量番号: 3-4

A3判をA4判に縮小した

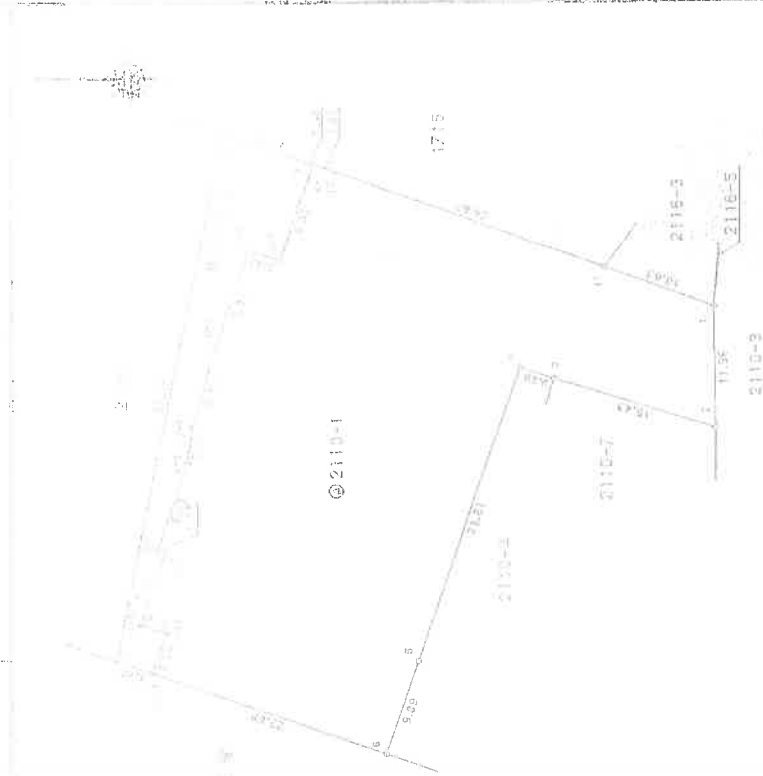
200年(2000)年経路(150) TK1J60 (Ver. 2.1) 1:1 縮小

測点名	X	Y	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_{n+1}-X_n$	$(Y_{n+1}-Y_n)^2$	$(X_{n+1}-X_n)^2$
1	-14998.575	2134.408	-15.164	225932.307700		
2	-14998.545	2123.016	-6.709	150304.151105		
3	-14998.433	2122.553	5.640	-80934.510120		
4	-14991.905	2122.686	-26.282	3918146.973410		
5	-14991.704	2101.417	-35.881	534884.121824		
6	-14955.794	2092.807	-11.223	167404.544332		
K-11	-14947.375	2100.294	71.226	-153205.931750		
K-10	-14948.632	2104.033	4.493	-85967.5503575		
K-9	-14946.372	2104.767	7.511	-1119487.300082		
K-8	-14948.645	2111.544	6.996	-1042744.324116		
K-7	-14947.935	2111.783	8.322	-120376.923392		
K-6	-14950.650	2119.866	11.523	-171751.639950		
K-5	-14951.130	2123.306	11.211	-1671012.218430		
K-4	-14953.407	2131.077	15.533	-2454299.977931		
K-3	-14955.331	2139.839	7.832	-1167409.184392		
K-2	-14959.119	2138.909	8.114	-1209465.691566		
K-1	-14962.200	2147.953	8.503	-1267475.886600		
10	-14963.725	2147.412	-9.741	1452029.745225		
11	-14965.753	2139.212	-13.004	1938750.144012		
計					2911.381893	
面積					1455.6909465	
総					1455.69 m ²	

測点名	X	Y	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_{n+1}-X_n$	$(Y_{n+1}-Y_n)^2$	$(X_{n+1}-X_n)^2$
K-1	-14962.200	2147.953	-9.153	1370328.804500		
K-2	-14959.119	2138.909	-8.114	1209465.691566		
K-3	-14955.331	2139.839	-7.832	1167409.184392		
K-4	-14953.407	2131.077	-16.533	2454299.977931		
K-5	-14951.130	2123.306	-11.211	1671012.218430		
K-6	-14950.650	2119.866	-11.523	171751.639950		
K-7	-14947.936	2111.783	-8.322	120376.923392		
K-8	-14948.646	2111.544	-6.996	1042744.324116		
K-9	-14945.372	2104.787	-7.511	1119487.300082		
K-10	-14948.632	2104.033	-4.493	68967.5503575		
K-11	-14947.375	2100.294	-2.616	389907.933000		
7	-14944.163	2101.417	50.609	-7542976.045267		
8	-14953.987	2150.903	45.685	-6958585.383095		
9	-14951.780	2148.102	-2.950	439732.251000		
計					389.326983	
面積					194.6534915	
総					194.65 m ²	

2110-1	1495.69 m ²
2110-8	194.65 m ²

150の経路



測点名	X	Y	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_{n+1}-X_n$	$(Y_{n+1}-Y_n)^2$	$(X_{n+1}-X_n)^2$
E1-KO-14	-14904.109	2010.023	-149275.371	2229.721		
E1-E1-15-3	-14995.244	1984.115	-149367.104	2213.811		

新設プラスチック
11, K-4, K-7
新設金属プレート
1, 2, 3, 5ないし10, K-1, K-2, K-3, K-6, K-8, ないしK-11

200年(2000)年経路(150)

(鹿児島県土地家屋調査士会)

A3判をA4判に縮小した

2116-3 (2116-3)

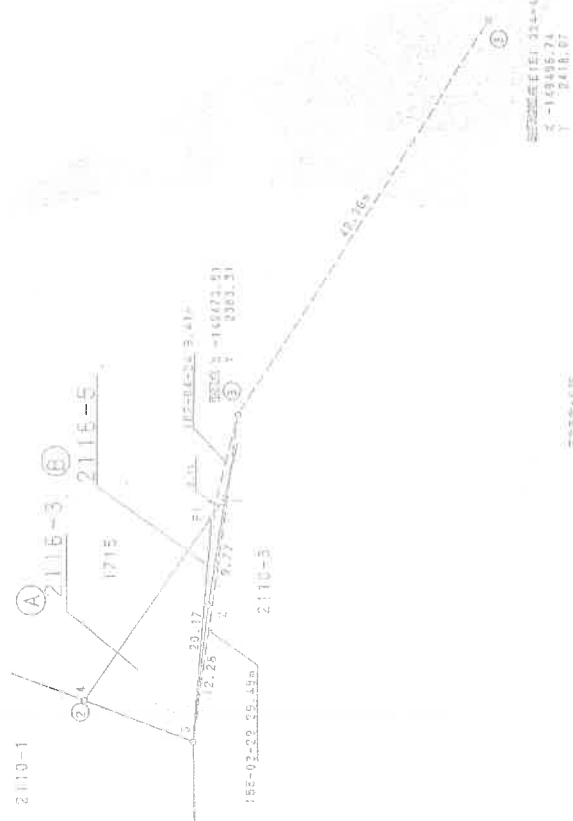
2116-3

2116-3

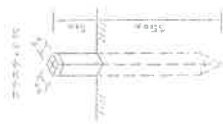
2116-3

土地の所在
宮城県仙台市青葉区

2110-1



番号	境界線の種類
①	コンクリート杭
②	コンクリート杭
③	プラスチック杭
④	金属標



測量点図表

測量点	X _n	Y _n	(X _n -1) - (X _{n-1})	距離
3	-149459.930	2354.100	635.607000	12.28
2	-149471.240	2355.310	-6649.331100	9.77
1	-149472.740	2375.950	-641.509200	2.14
0	-149471.510	2374.210	6671.530100	20.17
合計			161.236000	
面積			8.14	m²

測量点	X _n	Y _n	(X _n -1) - (X _{n-1})	距離
3	111.00	8.1484000	8.1484000	
2		102.8516000	102.8516000	
1		102	102	m²

測量点図表

測量点図表

測量点図表

これは図面に定められている地味を証明した図面である。
(鹿児島県地方公共団体登記所蔵)
鹿児島県 9月20日 登記地方公共団体

(14 冊)

登記簿

各階平面図

建物図面

2:110番1

家屋番号

鹿児島市中央二丁目三番地(原簿) 面積7.21㎡

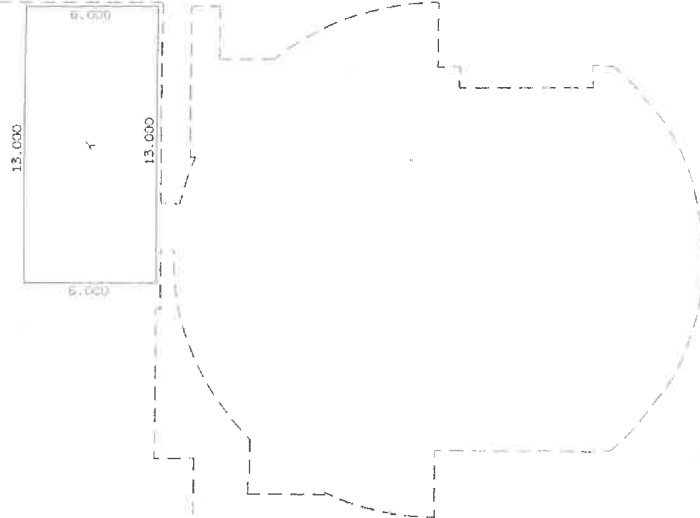
建物の所在

主たる建物
地下1階

求積表

イ	6.300 × 13.000	=	78.000000
計			78.000000
床面積			78.00 m ²

A3判をA4判に縮小した



作成者 土地家屋調査士

平成28年 5月 26日作成

縮尺 1/

申請人

地籍

(鹿児島県土地家屋調査士会用紙)

建筑平面图

家庭番号 2110 番 1

建築物の所在

主たる建築物の

用器類

25

五

平成28年 5月 28日 佐賀県

(鹿児島県土地家屋調査士会 用紙)

土地總量

請求番号: 4-33 (27)

これは図面に記録されている内容を確認した書面である。
(鹿児島県地方方法務局書於出張所管轄)

中世の日本の歴史

富饒地方法院

2000年12月

建築図面
各階平面図

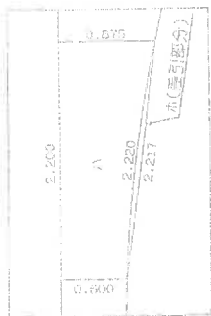
家屋番号 2110番1

建築物の所在
香川県高松市中央町三丁目二番地、三番地、四番地、五番地、六番地、七番地、八番地、九番地、十番地、十一番地、十二番地、十三番地、十四番地、十五番地、十六番地、十七番地、十八番地、十九番地、二十番地、二十一番地、二十二番地、二十三番地、二十四番地、二十五番地、二十六番地、二十七番地、二十八番地、二十九番地、三十番地、三十一番地、三十二番地、三十三番地、三十四番地、三十五番地、三十六番地、三十七番地、三十八番地、三十九番地、四十番地、四十一番地、四十二番地、四十三番地、四十四番地、四十五番地、四十六番地、四十七番地、四十八番地、四十九番地、五十番地、五十一番地、五十二番地、五十三番地、五十四番地、五十五番地、五十六番地、五十七番地、五十八番地、五十九番地、六十番地、六十一番地、六十二番地、六十三番地、六十四番地、六十五番地、六十六番地、六十七番地、六十八番地、六十九番地、七十番地、七十一番地、七十二番地、七十三番地、七十四番地、七十五番地、七十六番地、七十七番地、七十八番地、七十九番地、八十番地、八十一番地、八十二番地、八十三番地、八十四番地、八十五番地、八十六番地、八十七番地、八十八番地、八十九番地、九十番地、九十一番地、九十二番地、九十三番地、九十四番地、九十五番地、九十六番地、九十七番地、九十八番地、九十九番地、百番地

主たる建物
2階

主たる建物
2階

拡大図
S=1:50



求積表

イ	13.430 X 22.430	=	301.234900
ロ	1.000 X 6.430	=	6.430000
ハ	(0.600 + 0.875) X 2.200 / 2	=	1.5225000
ニ	π X 12.000 X 12.000 / 4	=	452.389342
ホ	12.000 X 12.000 X (10.601087 / 360		
ヘ	X π - sin(10.601087 / 2)	=	-0.076878
セ	(0.740 + 1.240) X 1.985 / 2	=	-1.9651000
ト	10.350 X 10.350 X (11.350404 / 360		
チ	X π - sin(11.350404 / 2)	=	-0.069264
計			759.564500
床面積			759.56 m ²

各階平面図

申請人

縮尺
1/

平面25' 5' 26.21(寸)

作成者
土地
家屋

(鹿児島県土地家屋調査士会局紙)

（延岡地方方法務局曾於出雲所寫語）

圖書集成彙編
卷一百一十五

2002년 11월

Figure 1

Chemical structures of the monomers used in the synthesis of polyimides.

A3判をA4判に縮小した

2110通1

亦頗壯

豊後市末吉町二之方字越210番地、211番地、同前番地、

主たる建物

表 10-1-1

[illegible]

附屬建物 1階

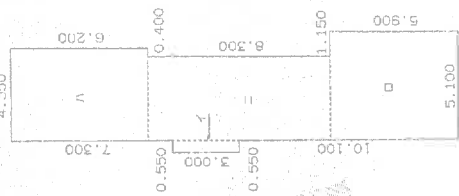


表 值 求

γ	0.550	×	3.030	=	1.650000
δ	5.100	×	5.900	=	30.090000
ε	6.200	×	4.350	=	26.970000
ζ	8.300	×	3.950	=	32.785000
合計					91.495000
底面積					91.49 m ²

附屬建築物 2 層 2 層



表積求

1	5.10 X	3.20	=	16.3200
□	11.30 X	3.95	=	44.6350
計				60.9550
面積				60.95 m ²

贈
張士誠
題
張士誠
題

2004年5月25日 星期三

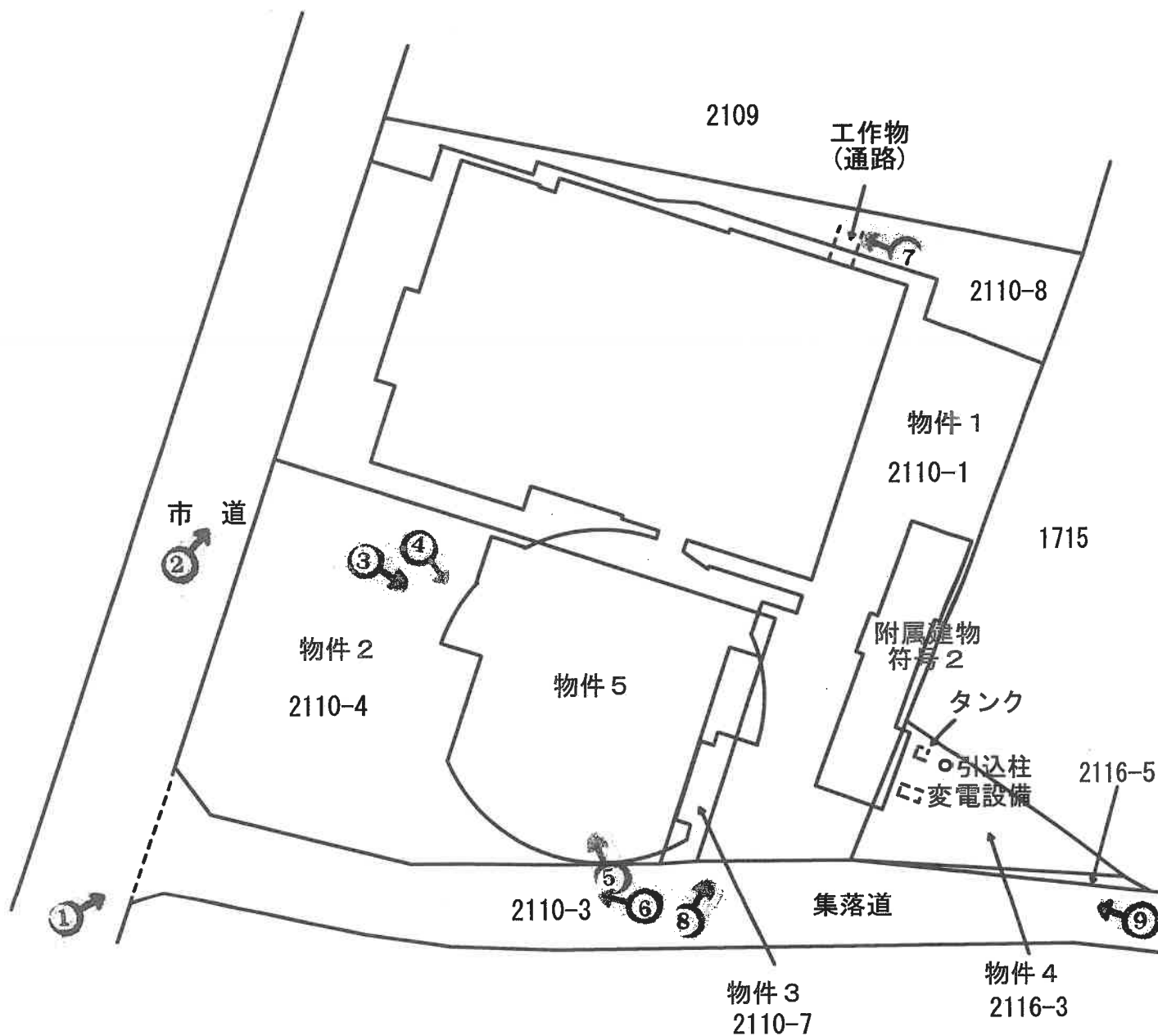
人
類
學

白

(鹿児島県土地家屋調査士会報)

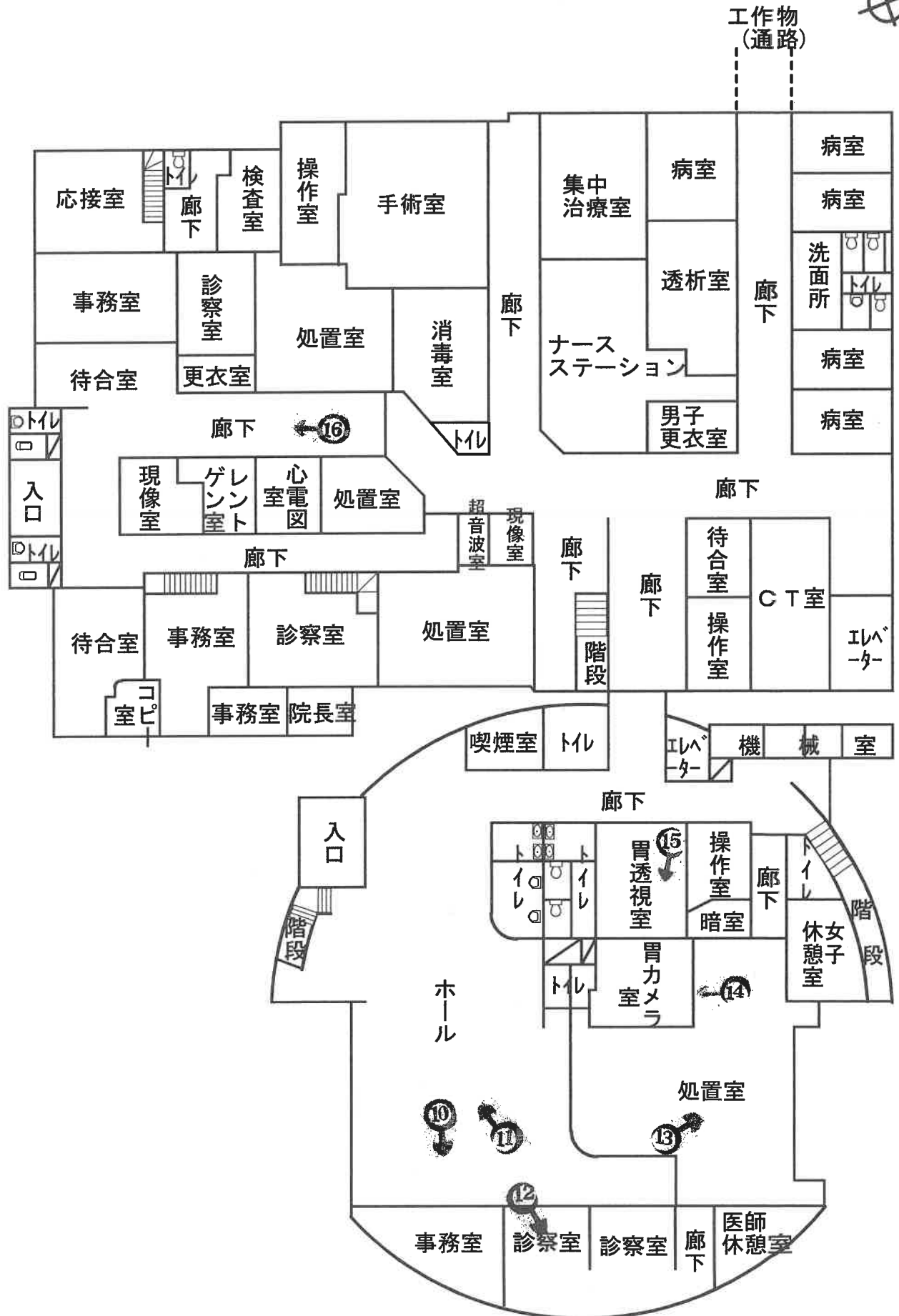
土地建物位置関係図

写真撮影位置・方向



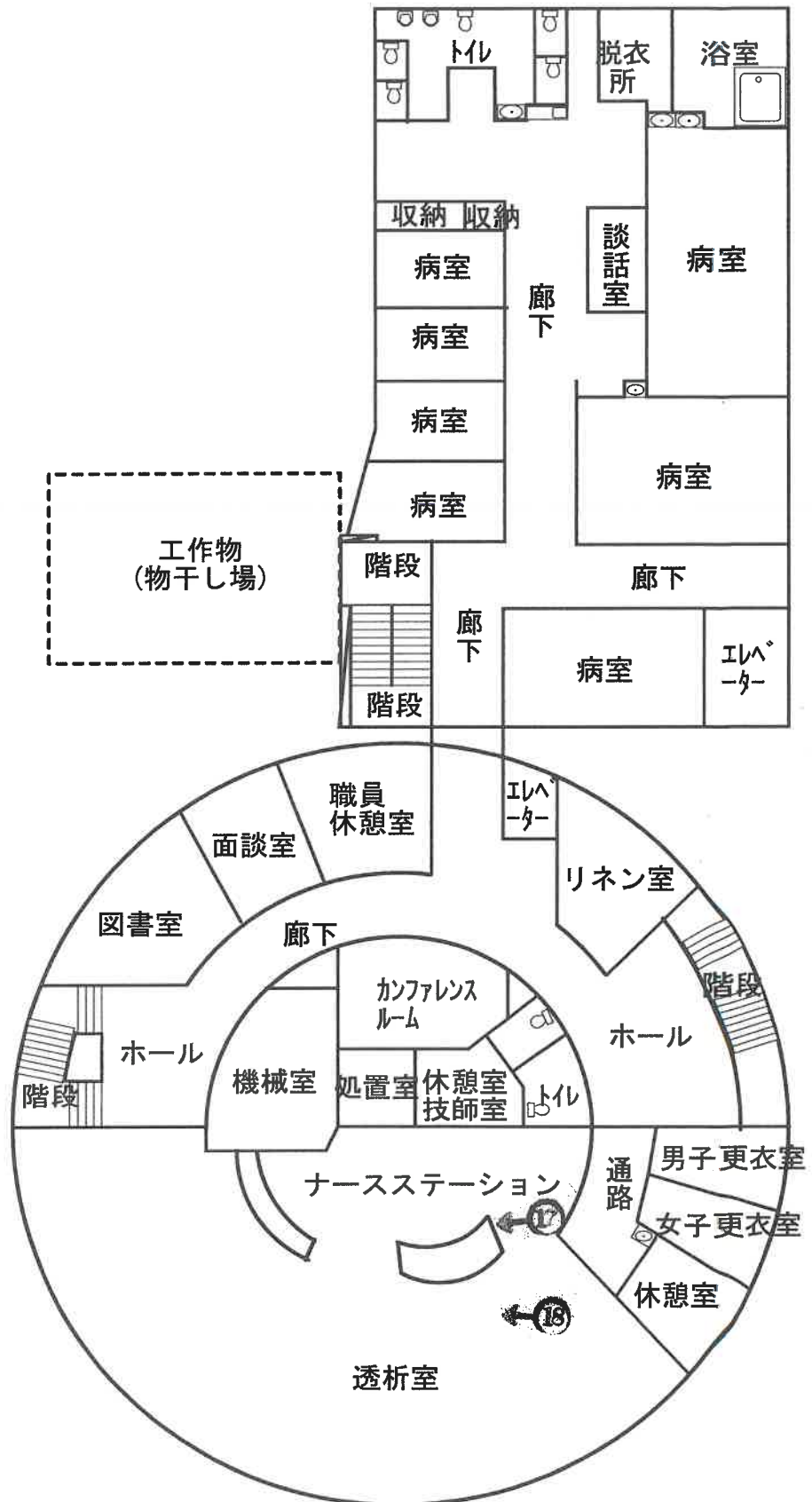


建物間取図



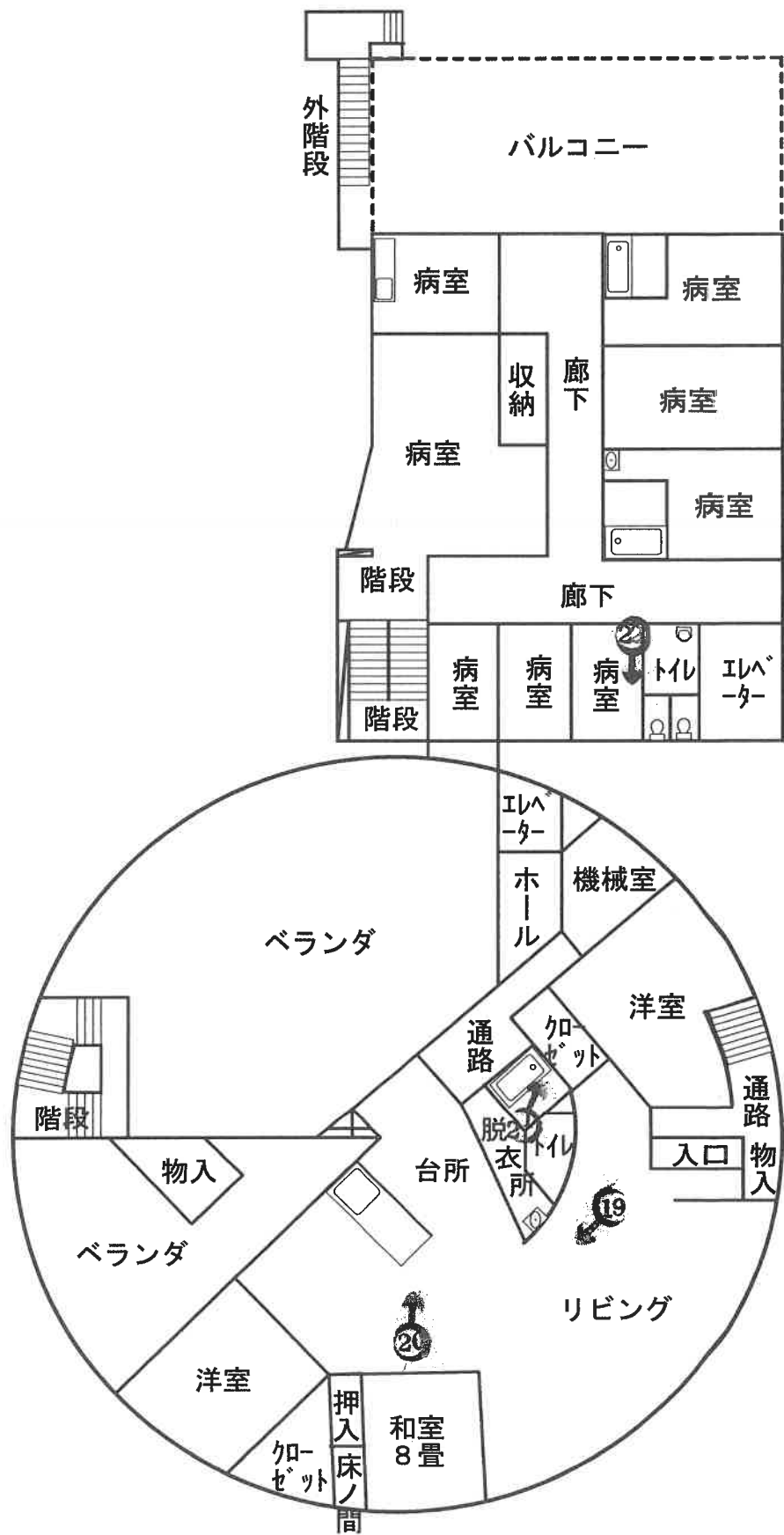
建物間取図

写真撮影位置・方向



建物間取図

写真撮影位置・方向

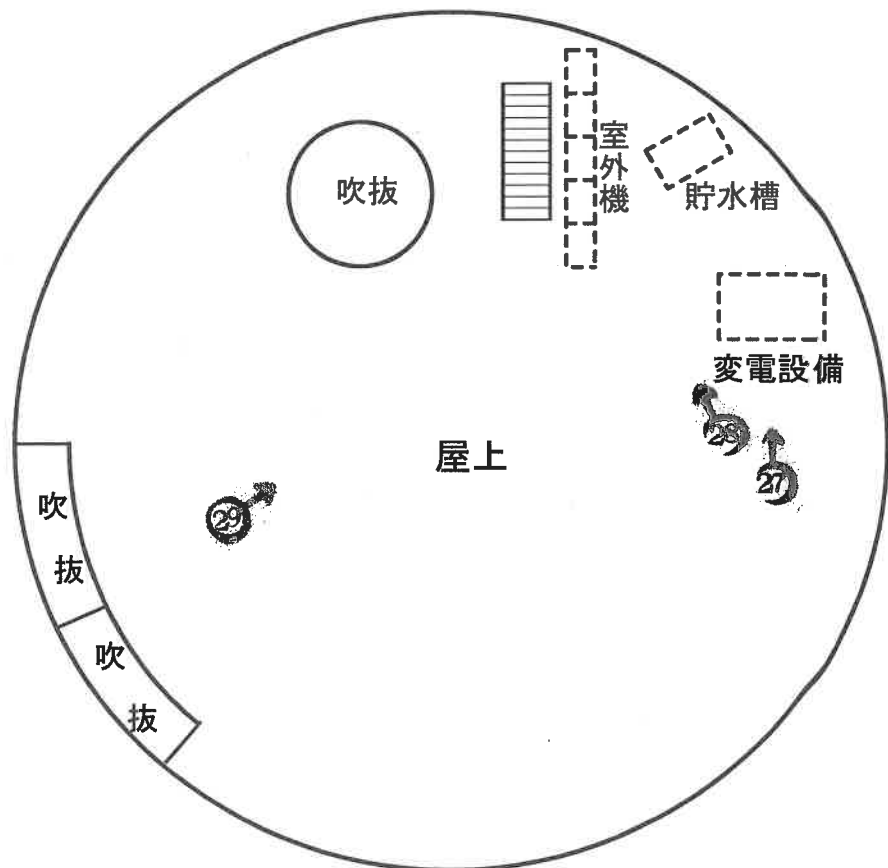
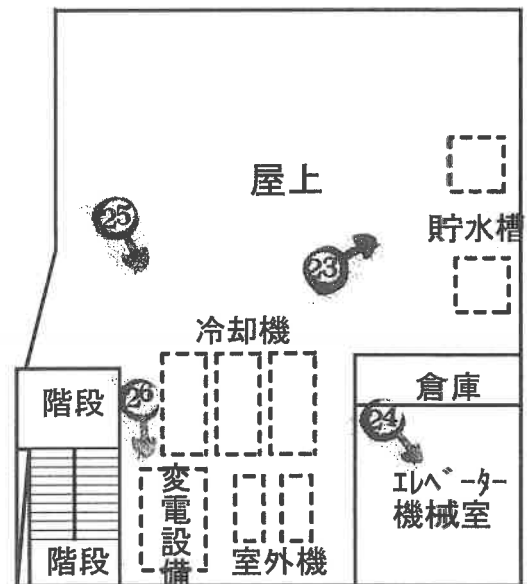


建物間取図

写真撮影位置・方向



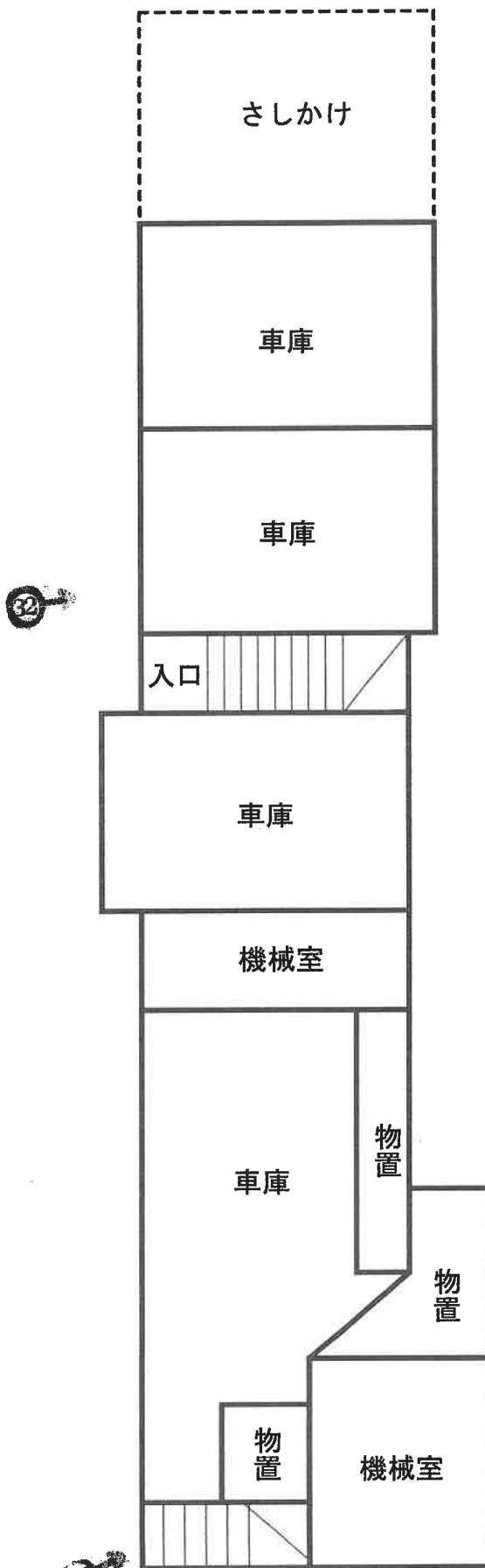
地下1階



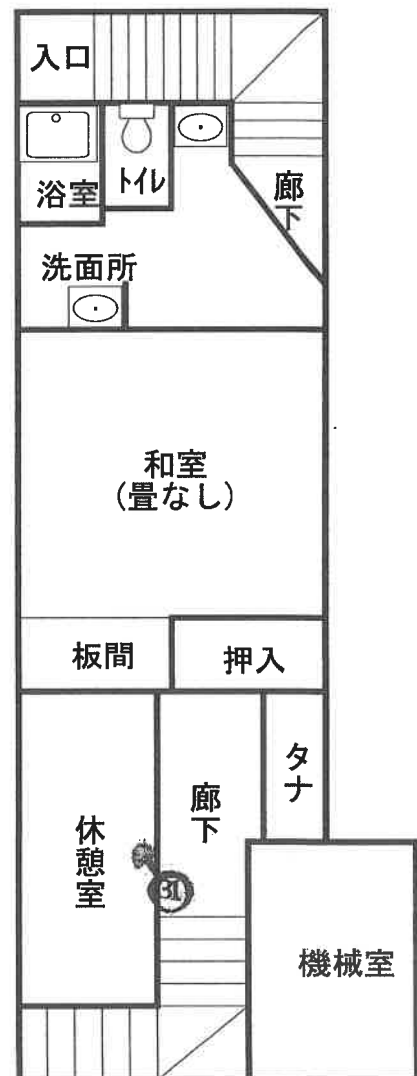
屋上

建物間取図

写真撮影位置・方向



1階



2階



1



2

本件建物の外壁タイルが崩落した部分



3

崩落した外壁タイルの残骸



4

本件建物の外壁タイルが崩落した部分



5

集落道

崩落した外壁タイルの残骸

本件建物



6

本件建物の北側に存する工作物(通路)



7

本件建物 物件 1 土地 引込柱
 物件 3 土地 符号 2 の附属建物 変電設備 集落道



8

集落道

物件 4 土地 タンク

本件建物

符号 2 の附属建物



9

写真 1 0 乃至 2 2 は本件建物内部



1 0



1 1



1 2



1 3



1 4



1 5

天井が崩落した箇所(雨漏りが原因と思われる)



1 6



1 7



1 8



1 9



2 0



2 1



2 2

剥がれた防水シート

防水シートが無い状況

貯水槽

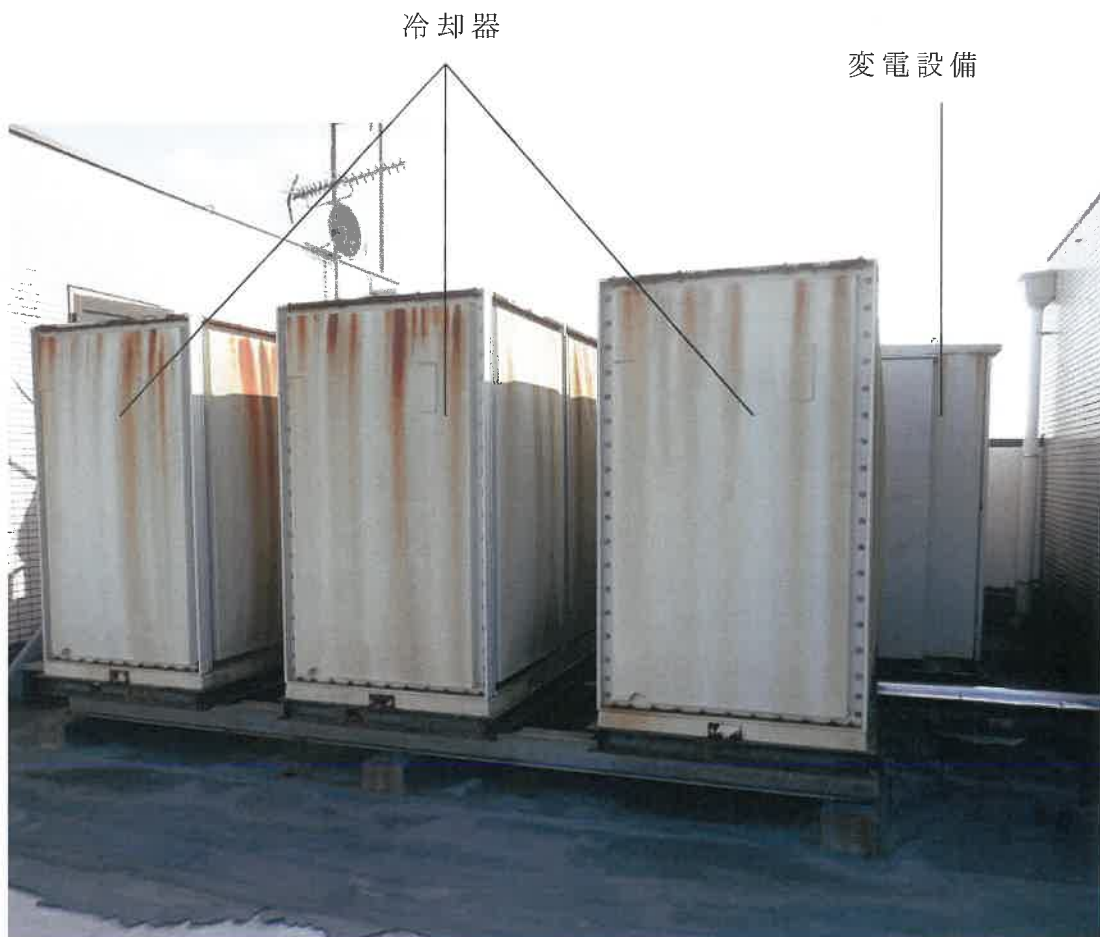


2 3

エレベーター機械室の内部



2 4



2 5



2 6



2 7



2 8



29

符号2の附属建物



30

符号 2 の附属建物内部



3 1

符号 2 の附属建物



3 2

令和5年 (ケ) 9号
令和5年11月21日現地調査
令和6年 1月 9日評 価

鹿児島地方裁判所鹿屋支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

大 吉 修 郎 印

第1 評価額

一 括 価 格	
金 65,900,000円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 4,630,000円
物件2（土地）	金 2,400,000円
物件3（土地）	金 130,000円
物件4（土地）	金 320,000円
物件5（建物）	金 58,420,000円

- 1 一括価格は、物件1～5の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1～4の内訳価格は物件5のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件5の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地目積所有者	曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番 1 宅地 1 4 5 5 . 6 9 平方メートル A	
2	所在地目積所有者	曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番 4 宅地 8 6 4 . 0 5 平方メートル 医療法人忠正会	
3	所在地目積所有者	曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番 7 宅地 4 1 . 9 0 平方メートル A	
4	所在地目積所有者	曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 6 番 3 雑種地 1 0 2 平方メートル A	

5	所 在	曾於市末吉町二之方字麓 2 1 1 0 番地 1、2 1 1 0 番地 4、 2 1 1 0 番地 7、2 1 1 6 番地 3 家屋番号 2 1 1 0 番 1 種 類 診療所 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メ ッキ鋼板ぶき・陸屋根地下 1 階付 3 階建 床 面 積 1 階 1 1 8 9. 5 9 平方メートル 2 階 7 5 9. 5 6 平方メートル 3 階 5 1 8. 4 0 平方メートル 地下 1 階 7 8. 0 0 平方メートル	診療所・居宅
	符 号 2 種 類 車庫・物置 構 造 鉄骨造スレート葺 2 階建 床 面 積 1 階 9 1. 4 9 平方メートル 2 階 6 0. 9 5 平方メートル 所 有 者 医療法人忠正会	車庫・物置・居宅	
番号	特 記 事 項		
	① 数量については、現地の状況や建物の配置等により正確に確認できないが、法務局備付けの図面（公図等）と現地の状況が概ね符合するので、登記上の数量を採用して評価した。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1～4）

位 置 ・ 交 通	曾於市役所本庁の北東方・約360m 「末吉本町」バス停の東方・約220m （いずれも直線距離 別添位置図参照）	
付 近 の 状 況	受命物件の存する地域は、曾於市中心部の住宅地域である。国道背後に位置し、市役所にも近く、曾於市の中では比較的生活利便性の高い地域であり、戸建住宅を中心とした土地利用となっている。今後も現状で推移していくものと予測する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制）	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	都市計画区域内 第1種住居地域 60% 200% — —
画 地 条 件	地積 : 計 2463.64 m² 規模 : 規模大 間口 : 約 46m (西側部分) 奥行 : 約 50～68m 形状 : やや不整形 地勢 : ほぼ平坦 高低差 : 接面道路(西側)とほぼ等高 接面道路との関係 : 角地	
接面道路の状況	西約8m舗装市道(建築基準法第42条1項1号道路) 南約5～6m舗装集落道(建築基準法第42条1項3号道路)	
土地の利用状況等	土地利用の状況は、現況調査報告書記載のとおり。 隣接地は、中学校、戸建住宅、共同住宅である。	
供給処理施設	上水道 : あり ガス配管 : なし 下水道 : あり	
土 壌 汚 染 の 可 能 性 の 調 査	現地調査、当事者等からの聴取によると土壌汚染をうかがわせる事実 は認められなかった。ただし、評価人としての調査には限界があり、 詳細については専門家による調査を要する。	
特 記 事 項	① 物件1、3、4土地は、物件2土地及び隣接地2110番8、2116番5、 1715番土地との境界が外観上判然としない。ただし、法第14条地 図が存するため復元は可能である。 ② 物件4土地上に、引込柱1本、タンク1基、変電設備(いずれも市場 価値なし)が存する。 ③ 物件1土地上に、目的外土地2109番上の建物さしかけが越境して いる。また、物件5建物と目的外土地2109番上の建物との間に工 作物(通路)が存する。 ④ 物件1、3、4土地は、平成6年9月8日から医療法人忠正会が使用 借している(詳細は現況調査報告書のとおり)。	

2 建物の概況及び利用状況（物件5）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：昭和37年1月10日所有権保存 経過年数：北側鉄骨造部分約30年 南側鉄筋コンクリート造部分約18年 経済的残存耐用年数：北側鉄骨造部分約10年 南側鉄筋コンクリート造部分約22年
仕 様	構 造：鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階付3階建 屋 根：亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根 外 壁：タイル等 内 壁：合板・クロス等 床：塩ビタイル、フローリング、畳等 設 備：電気・水道 その他：－
床面積（現況）	1階 1189.59 m ² 2階 759.56 m ² 3階 518.40 m ² 地下1階 78.00 m ² 計 2545.55 m ²
現況用途等	現況用途 診療所・居宅 間取り 建物間取図参照
品 等	中等
保守管理の状態	劣る
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり。

特 記 事 項	① 物件5建物は、白アリ被害については不明。評価人としての調査には限界があり、詳細については専門家による調査が必要である。 ② 物件5建物は、登記簿によると、昭和37年1月10日に木造瓦葺平家建診療所として所有権保存されたあと、以下のとおり、増改築等を行っている。 (増改築等の経緯) 平成6年9月1日構造変更・増築、平成11年12月28日構造変更・一部取壊し・増築、平成12年8月30日増築、平成18年5月26日構造変更・増築、平成28年5月24日一部取壊し ただし、昭和37年12月登記部分は現存しない。現況は北側の鉄骨造部分(平成6年9月・平成11年12月登記－全体の約54%)と南側の鉄筋コンクリート造部分(平成18年5月登記－全体の約46%)に大きく分かれている。 ③ 物件5建物は、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト、PCBを含有する建材等が使用されている可能性は否定できない。詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ④ 物件5建物は、付帯設備として室外機、冷却機、貯水槽、変電設備(稼働状況不明)が存する。 ⑤ 物件5建物は、外壁のタイルが一部崩落し、屋上の防水シートが剥がされ亀裂が存し、複数の雨漏り跡が存するなど、保守管理の状況は劣る。 ⑥ 物件5建物は、目的外土地2109番土地上の建物と地下トンネルでつながっている(目的外土地2109番土地上の建物所有者によると、トンネルは2つあるとのことである)
----------------	---

(附属建物)

区 分	附属建物符号 2
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載): 昭和51年10月1日新築 平成12年11月1日一部取壊し、増築 経 過 年 数 : 約47年 経済的残存耐用年数 : 一年
仕 様	構 造: 鉄骨造 2 階建 屋 根: スレート葺 外 壁: スレート 内 壁: クロス、合板等 床 : 合板等 設 備: 電気・水道 その他: 発電設備
床面積(現況)	1 階 91.49 m ² 2 階 60.95 m ² 計 152.44 m ²
現 況 用 途 等	現況用途 車庫・物置・居宅 間取り 建物間取図参照
品 等	中等
保守管理の状態	劣る
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり。
特 記 事 項	① 当附属建物符号 2 は、白アリ被害については不明。評価人としての調査には限界があり、詳細については専門家による調査が必要である。 ② 当附属建物符号 2 は、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベストを含有する建材等が使用されている可能性は否定できない。詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ③ 当附属建物符号 2 は、経年相応の劣化が進んでいる。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1～4）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格(円) ア×イ×ウ×エ
1	9,820	1.03	1455.69	0.95	13,987,000
2	9,820	1.03	864.05	0.95	8,302,000
3	9,820	1.03	41.90	0.95	402,000
4	9,820	1.03	102	0.95	980,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査 曽於(県)－1

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$$11,300 \text{ 円/㎡} \times 99.1/100 \times 100/100 \times 100/114 = 9,820 \text{ 円/㎡}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位＋3 形状－3

$$1.03 \times 0.97 = 1.00$$

◇地域格差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件

$$0.99 \times 1.00 \times 1.15 \times 1.00 = 1.14 (100/114)$$

イ 個別格差：角地＋5 不整形－2

$$1.05 \times 0.98 = 1.03$$

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：0.95

(2) 建物価格（物件5）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	割合 ウ	現 価 率 エ	建物価格 (円) ア×イ×ウ×エ
5 北側	190,000	2545.55	0.54	0.14	36,564,000
5 南側	220,000		0.46	0.40	103,043,000
計					139,607,000

エ 現価率

北側部分

経過年数 30 年、経済的全耐用年数 40 年、残価率 5%とした定額法と観察減価法（外壁タイル崩落、雨漏り等－50%）を併用して下記のとおり査定した。

$$\cdot \text{現価率} = \{\text{残価率 } 5\% + (1 - 5\%) \times (10 \text{ 年} / 40 \text{ 年})\} \times (1 - 50\%) = 0.14$$

南側部分

経過年数 18 年、経済的全耐用年数 40 年、残価率 5%とした定額法と観察減価法（外壁タイル崩落、亀裂等－30%）を併用して下記のとおり査定した。

$$\cdot \text{現価率} = \{\text{残価率 } 5\% + (1 - 5\%) \times (22 \text{ 年} / 40 \text{ 年})\} \times (1 - 30\%) = 0.40$$

(附属建物)

符号	再調達原価 (円/㎡) オ	現況延床面積 (㎡) カ	現 価 率 キ	建物価格 (円) オ×カ×キ
2	110,000	152.44	0.01	167,000

キ 現価率

建物は既に経済的全耐用年数を経過し、かつ、旧式化・老朽化等による減価が認められるので残価率5%を基本に観察減価法による補正（維持管理状況等－80%）を施して、現価率を以下の通り査定した。

$$\cdot \text{現価率} = 0.05 \times (1 - 80\%) = 0.01$$

建物の合計

番号	主である建物の価格 (円) ク	附属建物の価格 (円) ケ	建物価格 (円) ク＋ケ
5	139,607,000	167,000	139,774,000

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	13,987,000	使用借権	0.20	2,797,000
2	8,302,000	法定地上権	0.30	2,490,000
3	402,000	使用借権	0.20	80,000
4	980,000	使用借権	0.20	196,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等及びその割合を以下のとおり判断した。

物件 1、3、4 使用借権 20%
物件 2 法定地上権 30%

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	13,987,000	－2,797,000	1.00	0.69	0.60	4,630,000
2	8,302,000	－2,490,000	1.00	0.69	0.60	2,400,000
3	402,000	－80,000	1.00	0.69	0.60	130,000
4	980,000	－196,000	1.00	0.69	0.60	320,000
5	139,774,000	＋5,563,000	1.00	0.67	0.60	58,420,000
一括価格（合計）						65,900,000

ウ 占有減価修正：必要なし

(一万円未満切捨て)

エ 市場性修正：物件 1～4

特殊用途建物(診療所等)敷地 －30%

越境工作物・越境さしかけあり －2%

$$0.70 \times 0.98 = 0.69$$

物件 5

特殊用途建物(診療所等) －30%

目的外建物とトンネルで接続 －5%

$$0.70 \times 0.95 = 0.67$$

オ 競売市場修正：「第 2 評価の条件」欄記載の競売市場の特殊性による修正

第6 参考価格資料

1 地価調査価格 曾於(県)-1

所 在：曾於市末吉町栄町1丁目5番16

価 格：11,300 円／㎡(対前年変動率－1.74%)

位 置：末吉本町バス停 120m

価 格 時 点：令和5年7月1日

地 積：267 ㎡

供給処理施設：水道 下水

接 面 街 路：東 6.0m 市道

用途指定等：第一種住居地域(建ぺい率60%、容積率200%)

地域の概要：一般住宅のほか、事務所や駐車場等も見られる住宅地域

2 固定資産税課税標準額(令和5年1月1日)

物 件 1 6,229,042 円

物 件 2 3,697,355 円

物 件 3 179,293 円

物 件 4 218,198 円

物 件 5 主 205,341,013 円

符 号 2 1,239,676 円

第7 附属資料

1 受命物件の位置図

2 住宅地図写し(ゼンリン住宅地図 曾於市 202112)

3 公図写し

4 地積測量図

5 建物図面・各階平面図写し

6 土地建物位置関係図

7 建物間取図

8 現況写真

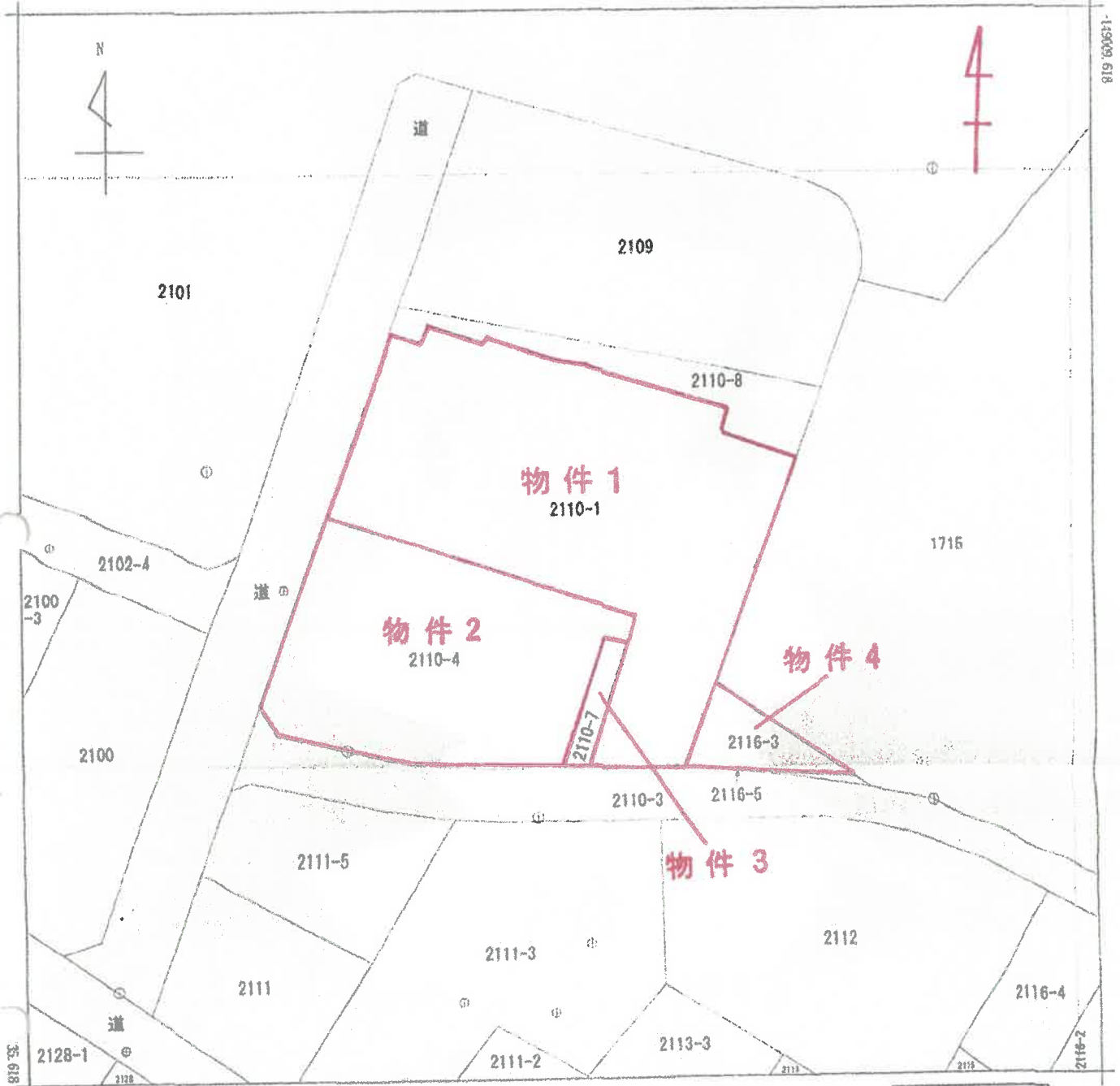
以 上



公 図 写

(原図縮小: 図上測定)

+2162.778



+2057.778

(原図縮小: 図上測定)

地番区域見出
末吉町二之方

請求部	所在	曾於市末吉町二之方字範				地番	2110番1			
出力	1/500	精度	甲二	座標系 番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和59年2月				備付年月日 (原図)			補事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。
(鹿児島地方裁判所曾於出張所管轄)

令和5年9月29日

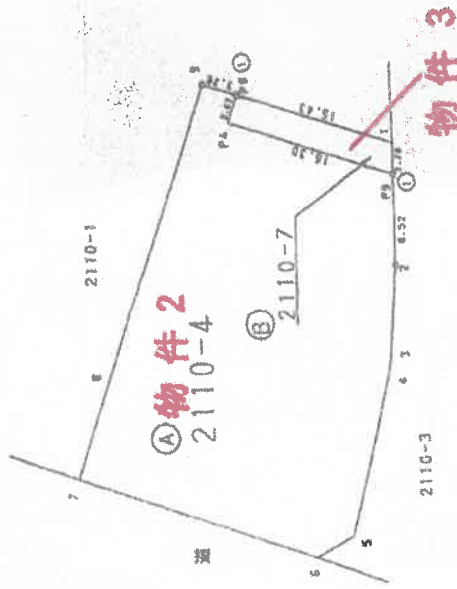
宮崎地方裁判所

登記官

請求番号: 3-1

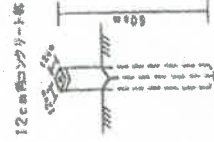
(1/1)

A3→A4縮小



境界	境界線の種類
①	コンクリート杭
②	石杭
③	プラスチック杭
④	金屋杭

縮尺 1/500



海陽縣志

記号	波長	λ_{H}	λ_{D}	$(X_{\text{H}} + 1 - X_{\text{D}})Y_{\text{H}}$	距離
P1	1895.0	189570.100	2347.742	34442.953480	15.43
P2	1895.5	189455.388	2347.391	36485.489313	2.63
P4	1895.4	189454.557	2341.897	34474.675694	16.30
P3	1897.0	189470.050	2339.558	36369.967194	2.78
			距離	63.616905	
			距離	41.9094525	
			距離	41.90	^m

底坑	2110-4	上	4.9094525
公	905.56	烟	4.0594525
		烟	4.0594525

申請人

(平成11年9月6日作製)

著作

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。

(鹿兒島地方性病局曾於出發所密覽)

中華民國二十九年

和富製冰機總店

14

A3→A4縮小

請求番号: 504

登記年月日：平成11年6月22日

130625

前 2116-3 (後・新)

地 積 測 量 図

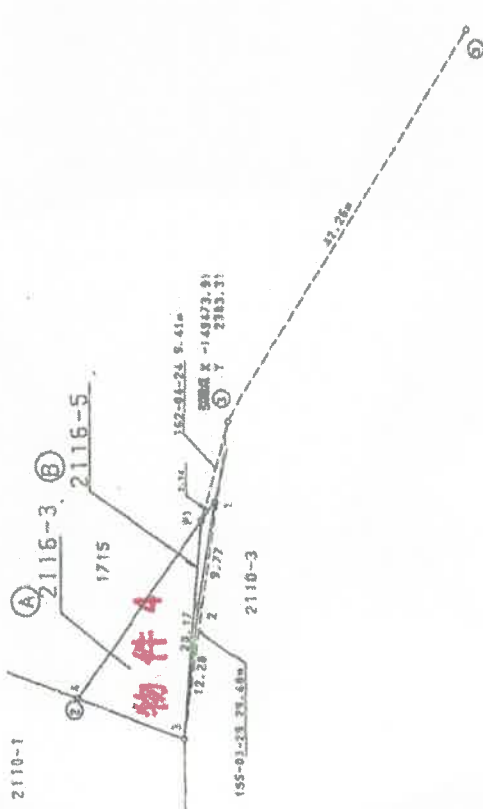
地 番	2116-15-1
土地の所在	宮崎県宮崎市西之郷二丁目

H11.6.24

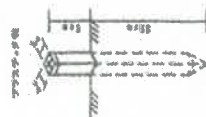
座 標 変 換 表

番 号	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距
3	-149459.930	2354.100	635.607000	12.28
2	-149471.240	2366.310	-6649.331100	9.77
1	-149472.740	2375.960	-641.509200	2.14
P1	-149471.510	2374.210	6671.538100	20.17
合 計			16.296800	
			8.14	m ²

基地 番 ④	2116-3
公 積	111.00
積 算	8.148400
積 算	102.851600
積 算	102



境界点 E1E1 324-4
X -149456.74
Y 2618.87



境界	境界標の種類
①	コンクリート杭
②	コンクリート釘
③	プラスチック杭
④	金属標

縮尺 1/500

申請人

(平成11年6月15日作成)

測定

作製者

A3→A4縮小

請求番号：3-5

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。

(鹿児島県地方公務局 登記所 作成)

令和5年9月29日 宮崎県地方公務局

登記官

登記年月日：平成28年6月8日

これは図面に記載されている内容を確認した図面である。

(鹿児島県地方登記所管外出張所管内)

令和2年9月29日

宮崎県地方登記所

登記官

A3→A4縮小

請求番号：3-3

(1/5)

各階平面図

家屋番号 2110番1

建物の所在 鹿児島市末吉町二之方字地2110番地1、同番地4
同番地1、2116番地3

建物図面

各階平面図

1/5

2101

2109

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

2109番
2109番

物件5

符号2

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

2116-3

申請人

縮尺 1/500

作成者

建物図面

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
(鹿児島県地方法務局資料出典所管事務)
令和5年9月29日 宮崎地方法務局 登記官

各階平面図

家屋番号 2110番1

建物図面
各階平面図

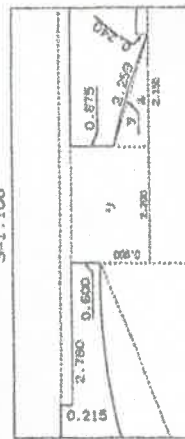
登記地先市街二之方字第二110番地1、同番地3
同番地7、2116番地3

主たる建物
1階

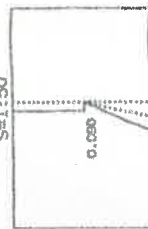
求積表

イ	0.280 X 13.350	=	3.738000
ロ	25.250 X 21.935	=	575.793750
ニ	0.130 X 5.950	=	0.773500
ホ	0.500 X 16.870	=	8.435000
ヘ	6.665 X 20.870	=	139.038550
ニ	1.000 X 7.000	=	7.000000
ハ	1.800 X 11.500	=	20.700000
ト	0.215 X 14.430	=	3.102450
フ	1.363 X 2.200	=	3.000600
リ	8.870 X 3.500 / 2	=	15.5225000
ニ	2.150 X 0.885 / 2	=	0.7353750
ハ	12.000 X 12.000 X (10.789559 / 360)	=	0.0600000
ニ	X = - sin(10.789559 / 2)	=	0.0500000
リ	2.500 X 1.300	=	3.250000
ニ	0.240 X 4.800	=	1.104000
エ	0.350 X 11.040	=	3.864000
セ	1.000 X 12.040	=	12.040000
リ	19.000 X 7.600	=	144.400000
リ	12.000 X 12.000 X (46.820885 / 360)	=	6.333147
リ	X = - sin(46.820885 / 2)	=	0.0500000
リ	0.050 X 3.500	=	0.315000
リ	9.400 X 16.460	=	154.724000
リ	1.910 X 8.500	=	16.235000
リ	2.650 X 7.520 / 2	=	9.9540000
リ	1.050 X 5.000 / 2	=	2.7250000
リ	12.000 X 12.000 X (36.807025 / 360)	=	3.644001
リ	X = - sin(36.807025 / 2)	=	0.315000
リ	12.000 X 12.000 X (24.622377 / 360)	=	0.943577
リ	X = - sin(24.622377 / 2)	=	0.960000
リ	1.000 X 0.960	=	0.960000
リ	12.000 X 12.000 X (97.180756 / 360)	=	50.685654
リ	X = - sin(97.180756 / 2)	=	1165.535040
計			1189.53 ㎡

拡大図-1
S=1:100



拡大図-2
S=1:50



物件5

作成者

縮尺 1/250

自記入

縮尺 1/250

A3→A4縮小

登記年月日：平成28年6月8日

これは登記簿に記載されている内容を正確にした図面である。

(登記簿記載内容と異なる場合は、登記簿記載内容に従ってください)

令和5年9月29日

宮崎県地方自治局

登記官

A3→A4縮小

請求番号：3-3

(3/5)

建物図面

建物図面 各階平面図

家屋番号 2110番1

建物の所在 宮崎県宮崎市吉野二丁目2110番地1、同番地4
同番地1、2116番地3

主たる建物
地下1階

求積表

1	5,000 X 13,000	=	78,000,000
計			78,000,000
延面積			78.00 m ²

物件5

作成者

申請人

縮尺 1/250

登記年月日：平成28年6月8日

これは図面に記載されている内容を証明した図面である。

(鹿児島地方裁判所民事部第10部)

令和5年9月29日

宮崎地方裁判所

登記官

A3→A4縮小

請求番号：3-3

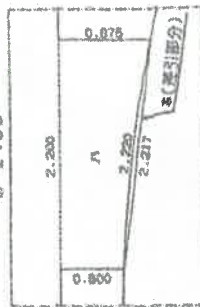
各階平面図

家屋番号 2110番1

建物の所在 鹿児島市志布志二丁目2番10号地1、同番地5

主たる建物
2階

拡大図
S=1:50



求積表

イ	13.430 X 22.430	=	301.234900
ロ	1.000 X 6.430	=	6.430000
ハ	0.600 + 0.675	X 2.200 / 2	= 1.6225000
ニ	π X 12.000 X 12.000	/ 4	= 452.389342
ホ	12.000 X 12.000 X (10.601087 / 390		
ヘ	X π - sin(10.601087 / 2) X		-0.073878
ト	0.740 + 1.240 X 1.985 / 2	=	-1.9851500
チ	10.350 X 10.350 X (11.350404 / 390		
リ	X π - sin(11.350404 / 2) X		-0.069264
計			759.364500
延面積			759.36 m ²

作成者

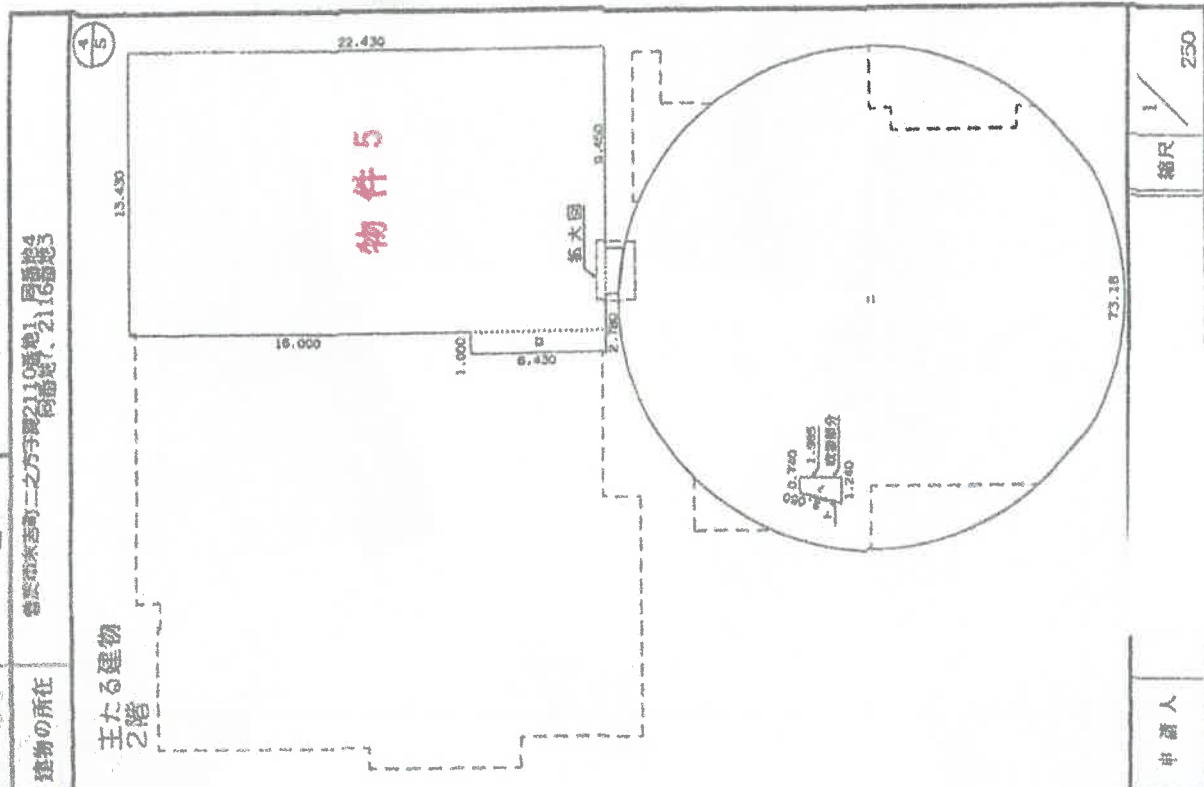
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/250

(鹿児島県土地家屋調査士会用紙)

建物図面



建物図面

建 物 面
各 階 平 面

THE
O
N

THE
O
N

總發售本志句二之方手號2110番地1、同番地4
同番地7、2116番地3

家題の
主

棉尺 250

人證

1/250
英尺

圖 面 平 階 各

求 雅 素

1	1.500×0.740	=	1.110000
2	3.485×2.300	=	7.995000
3	2.007×2.900	=	5.821300
4	1.015×2.500	=	2.537500
5	4.003×2.500	=	10.007500
6	12.000×2.500	=	30.000000
7	9.700×2.500	=	24.250000
8	12.000×2.500	=	30.000000
9	12.000×2.500	=	30.000000
10	12.000×2.500	=	30.000000
11	12.000×2.500	=	30.000000
12	12.000×2.500	=	30.000000
13	12.000×2.500	=	30.000000
14	12.000×2.500	=	30.000000
15	12.000×2.500	=	30.000000
16	12.000×2.500	=	30.000000
17	12.000×2.500	=	30.000000
18	12.000×2.500	=	30.000000
19	12.000×2.500	=	30.000000
20	12.000×2.500	=	30.000000
21	12.000×2.500	=	30.000000
22	12.000×2.500	=	30.000000
23	12.000×2.500	=	30.000000
24	12.000×2.500	=	30.000000
25	12.000×2.500	=	30.000000
26	12.000×2.500	=	30.000000
27	12.000×2.500	=	30.000000
28	12.000×2.500	=	30.000000
29	12.000×2.500	=	30.000000
30	12.000×2.500	=	30.000000
31	12.000×2.500	=	30.000000
32	12.000×2.500	=	30.000000
33	12.000×2.500	=	30.000000
34	12.000×2.500	=	30.000000
35	12.000×2.500	=	30.000000
36	12.000×2.500	=	30.000000
37	12.000×2.500	=	30.000000
38	12.000×2.500	=	30.000000
39	12.000×2.500	=	30.000000
40	12.000×2.500	=	30.000000
41	12.000×2.500	=	30.000000
42	12.000×2.500	=	30.000000
43	12.000×2.500	=	30.000000
44	12.000×2.500	=	30.000000
45	12.000×2.500	=	30.000000
46	12.000×2.500	=	30.000000
47	12.000×2.500	=	30.000000
48	12.000×2.500	=	30.000000
49	12.000×2.500	=	30.000000
50	12.000×2.500	=	30.000000
51	12.000×2.500	=	30.000000
52	12.000×2.500	=	30.000000
53	12.000×2.500	=	30.000000
54	12.000×2.500	=	30.000000
55	12.000×2.500	=	30.000000
56	12.000×2.500	=	30.000000
57	12.000×2.500	=	30.000000
58	12.000×2.500	=	30.000000
59	12.000×2.500	=	30.000000
60	12.000×2.500	=	30.000000
61	12.000×2.500	=	30.000000
62	12.000×2.500	=	30.000000
63	12.000×2.500	=	30.000000
64	12.000×2.500	=	30.000000
65	12.000×2.500	=	30.000000
66	12.000×2.500	=	30.000000
67	12.000×2.500	=	30.000000
68	12.000×2.500	=	30.000000
69	12.000×2.500	=	30.000000
70	12.000×2.500	=	30.000000
71	12.000×2.500	=	30.000000
72	12.000×2.500	=	30.000000
73	12.000×2.500	=	30.000000
74	12.000×2.500	=	30.000000
75	12.000×2.500	=	30.000000
76	12.000×2.500	=	30.000000
77	12.000×2.500	=	30.000000
78	12.000×2.500	=	30.000000
79	12.000×2.500	=	30.000000
80	12.000×2.500	=	30.000000
81	12.000×2.500	=	30.000000
82	12.000×2.500	=	30.000000
83	12.000×2.500	=	30.000000
84	12.000×2.500	=	30.000000
85	12.000×2.500	=	30.000000
86	12.000×2.500	=	30.000000
87	12.000×2.500	=	30.000000
88	12.000×2.500	=	30.000000
89	12.000×2.500	=	30.000000
90	12.000×2.500	=	30.000000
91	12.000×2.500	=	30.000000
92	12.000×2.500	=	30.000000
93	12.000×2.500	=	30.000000
94	12.000×2.500	=	30.000000
95	12.000×2.500	=	30.000000
96	12.000×2.500	=	30.000000
97	12.000×2.500	=	30.000000
98	12.000×2.500	=	30.000000
99	12.000×2.500	=	30.000000
100	12.000×2.500	=	30.000000
Σ 518.40 m³			

附屬建物 符号2 2階

附圖 1 附圖 2

2011.1.30

13

素

1	5.10	x	3.20	=	16.3200
2	11.30	x	5.85	=	44.6350
			Σ		60.9550
				買入額	60.95 円

2000

張
繼
詩

1	0.550	x	3.050	=	1.650000
2	0.100	x	3.900	=	30.090000
3	0.600	x	4.350	=	26.970000
4	0.300	x	3.950	=	32.785000
5	0.550	x	3.950	=	91.495000
6	0.550	x	3.950	=	91.495000

1998

卷之五

1/250
英尺

人證

棉尺 250

登記年月日：平成28年6月8日

「本誌掲載の『おはなれ』の内容を証明した書面である」

(聖賢已與方法發揚於世)

全學成績表

臺灣地方志網

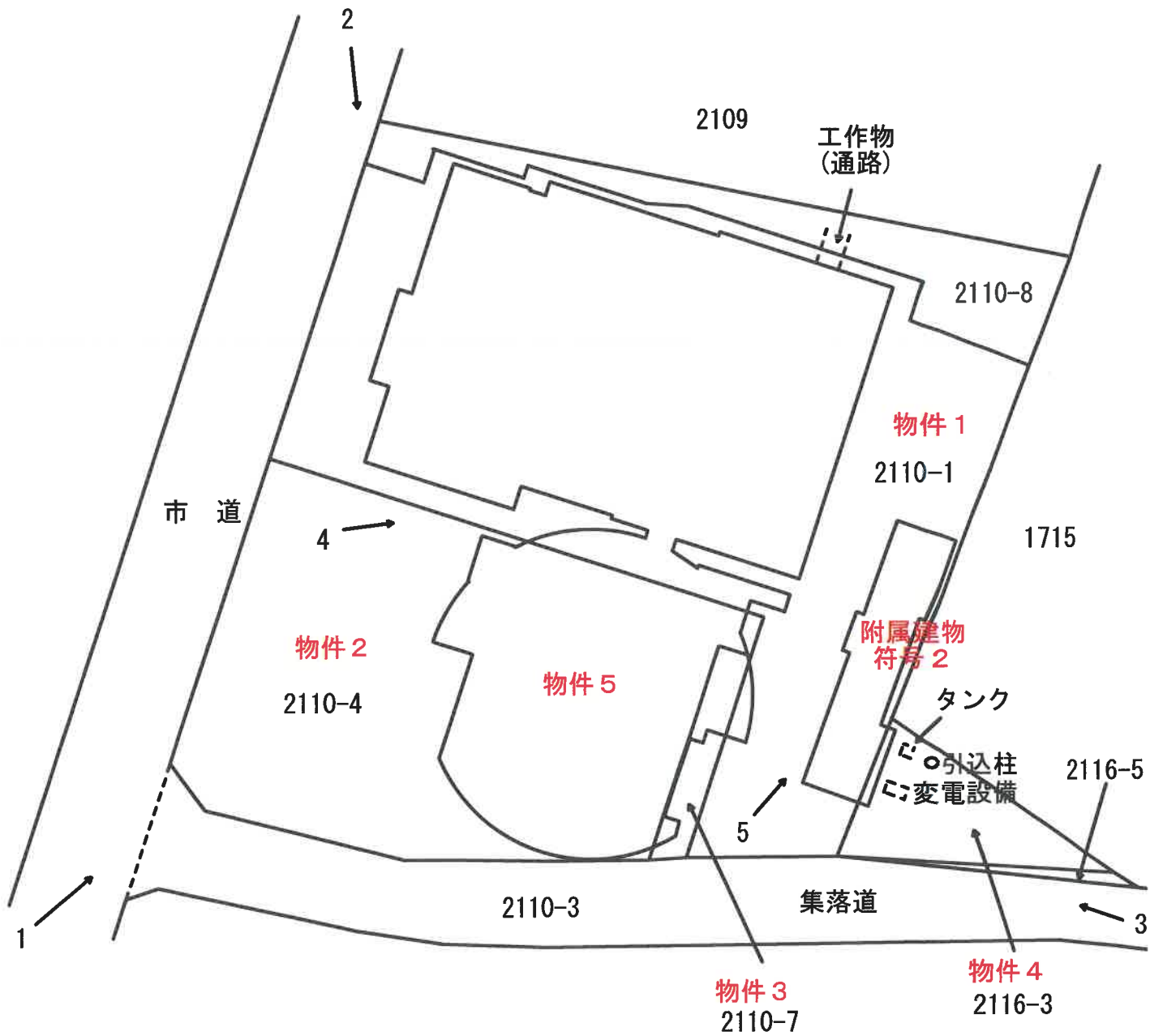
结论

(5/5)

請求番号: 3-3

A3→A4縮小

土地建物位置関係図

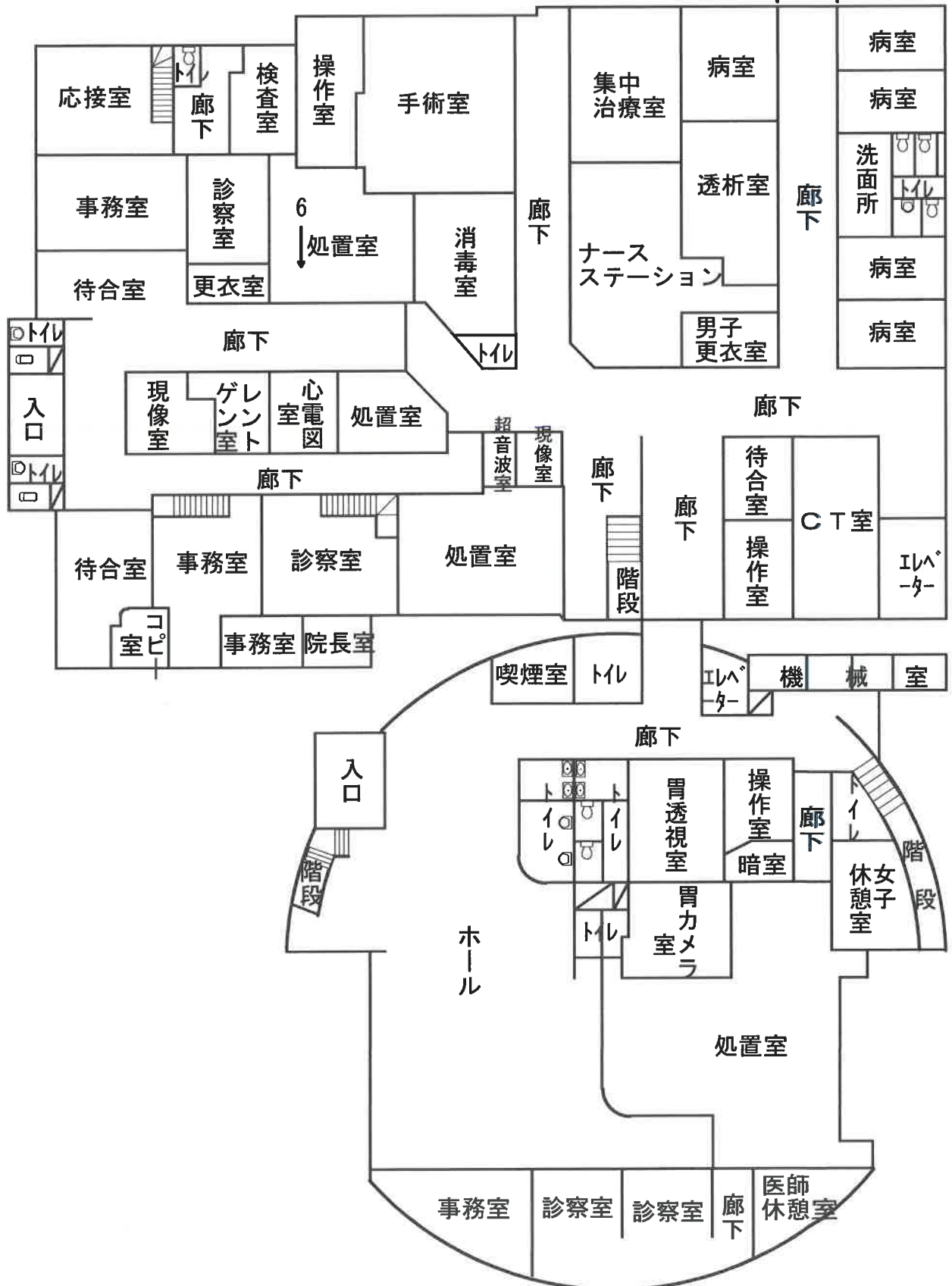


← 1 写真撮影位置

建物間取図

物件 5 主

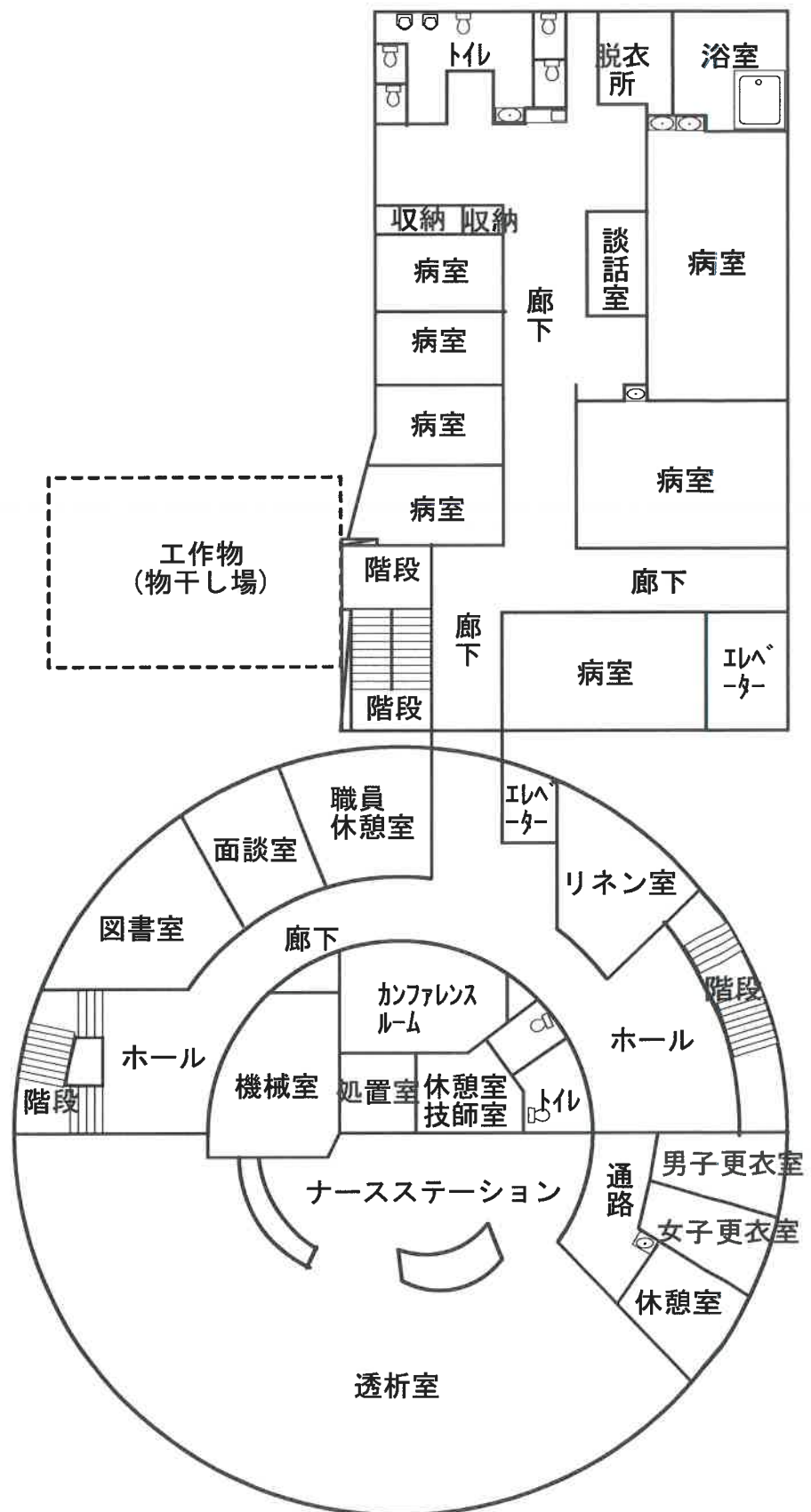
工作物
(通路)



1 階

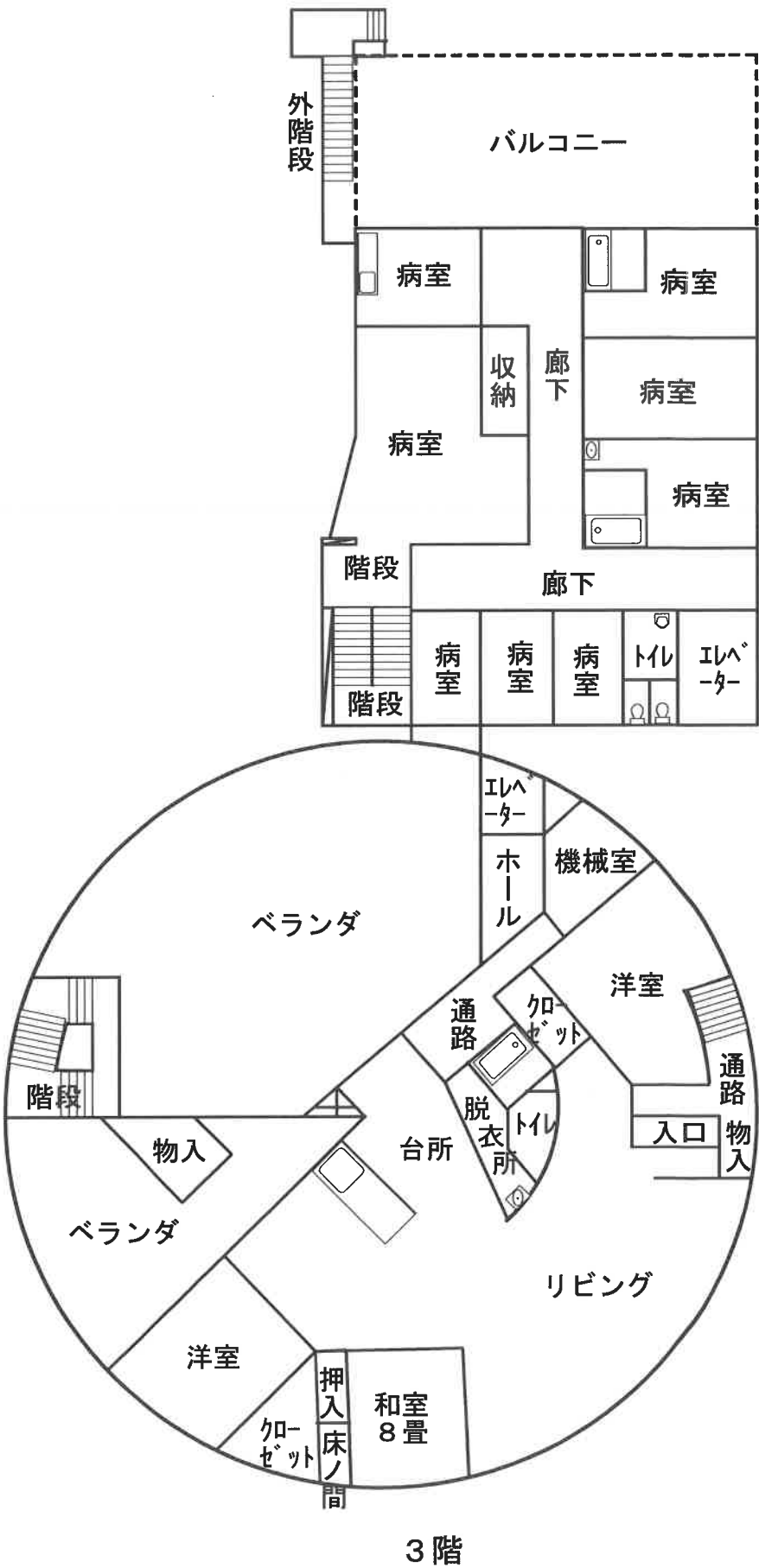
建物間取図

物件5 主



建物間取図

物件 5 主

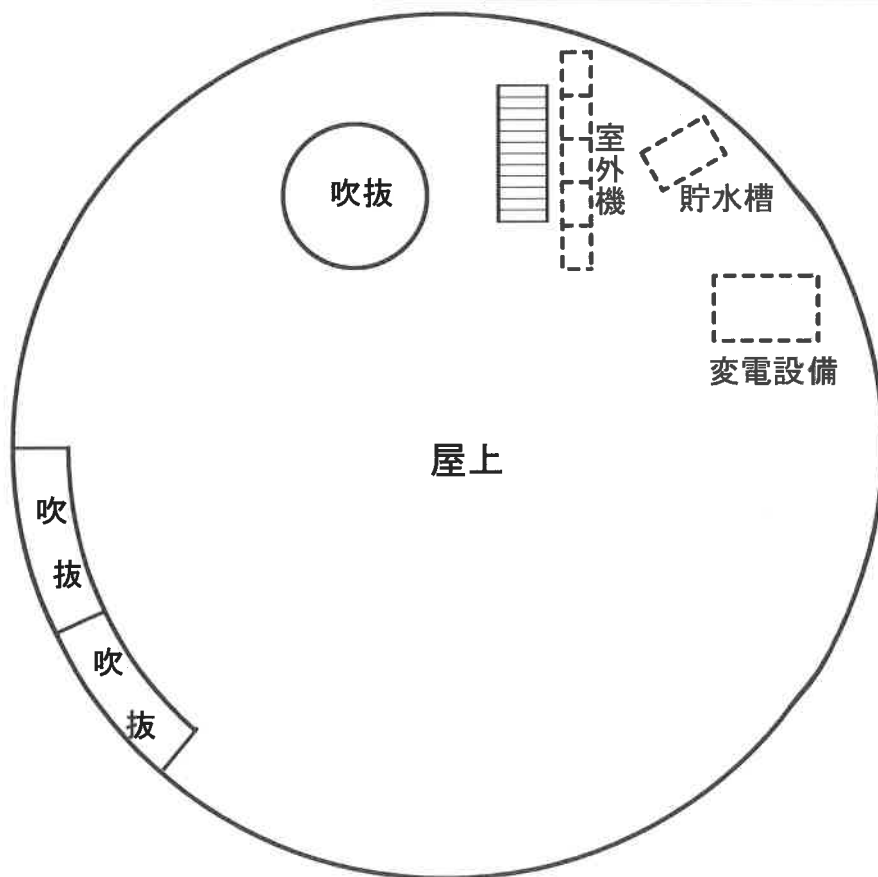
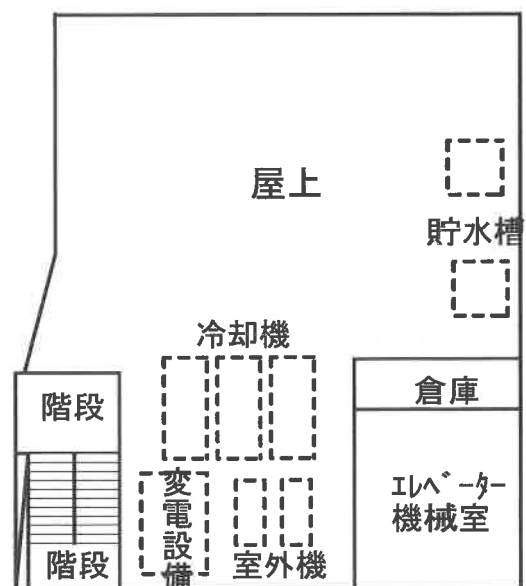


建物間取図

物件 5 主



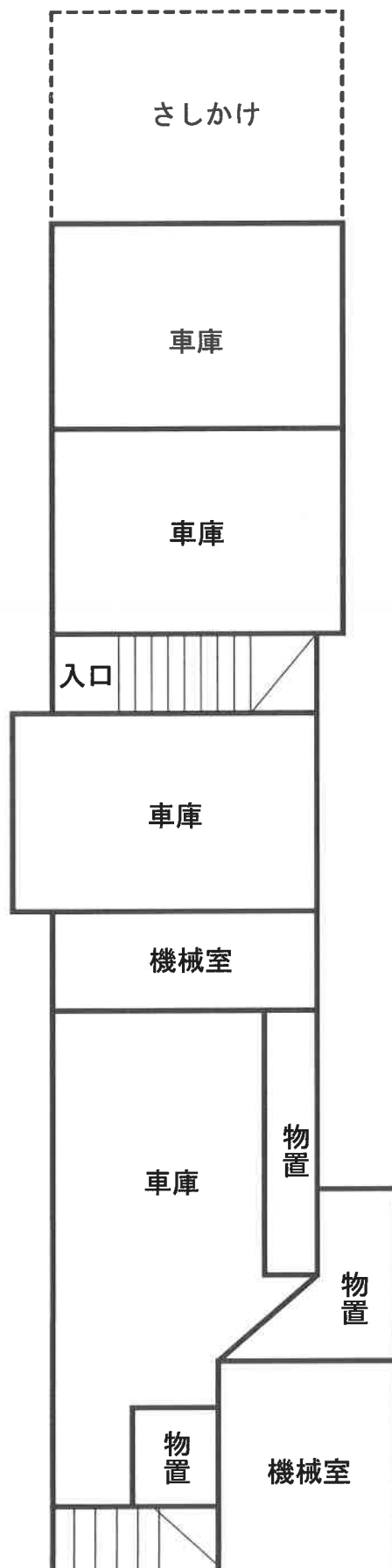
地下1階



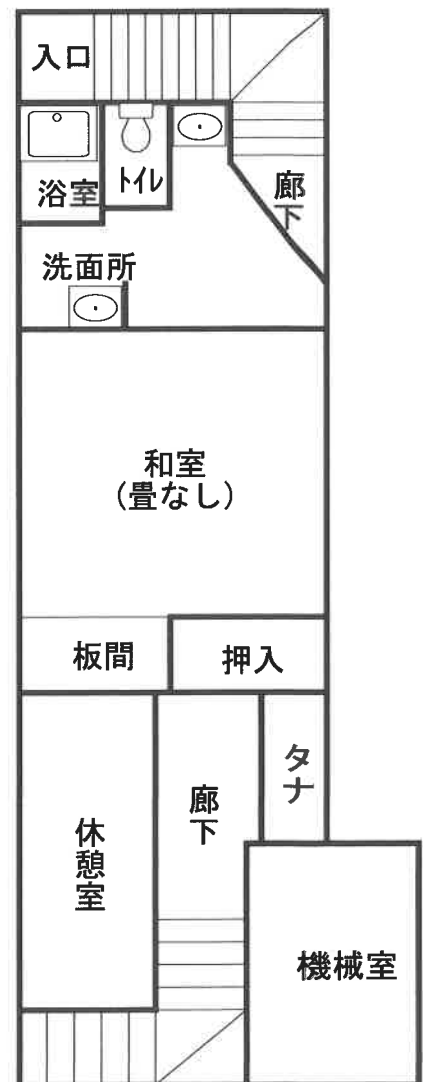
屋上

建物間取図

物件5 附属建物符号2



1 階



2 階

現況写真

1



2



現況写真

3



4



外壁の破損の様子

現況写真

5



6



雨漏り跡の様子